

1年 内進 科目一覧

	科 目	ページ
1	国語総合	2 ~ 6
2	現代社会	7 ・ 8
3	数学Ⅱ	9 ~ 12
4	数学A	13 ・ 14
5	数学B	15 ・ 16
6	物理基礎	17 ~ 21
7	化学基礎	22 ~ 24
8	体育	25 ~ 30
9	保健	31 ・ 32
10	音楽 I	33 ~ 36
11	美術 I	37 ~ 39
12	書道 I	40 ~ 44
13	コミュニケーション英語 I	45 ~ 48
14	英語活用RP(Research & Presentation)	49 ~ 52
15	英語活用DD(Debate & Discussion)	53 ~ 58
16	家庭基礎	59 ~ 62
17	社会と情報	63 ~ 65
18	KoA-R・I	66 ・ 67

~

令和2年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 高志高校

科目名	学科名	対象学年	単位数
国語総合	普通科（内進生）	1	5
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
「改訂版 国語総合 現代文編」「改訂版 国語総合 古典編」（数研出版）		漢文読本（大修館）、新総合国語図説（東京書籍）、完全マスター古典文法（第一学習社）、新明説漢文（尚文出版）、頻出漢字マスター3000（尚文出版）	

科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。			
評価の観点および評価規準				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取り組み状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査、到達度確認テストの得点。 【表現力】文字作品（随筆・感想等）、音声表現（スピーチ等）の内容や完成度			

分野 ／ 期間	国語総合		具体的な評価規準(評価方法)				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動 (特に着眼したい読解のための活動)
	単元(学習)目標	教材	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
現代文 ／ 前期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 常用漢字の読みに慣れ、また正しく書く。 	随想 知の体力 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 具体例から問題提起に至る文章構成をとらえている。(記点) 指示語や接続語に注意して文脈的確に読み取っている。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句について理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(記分) 	筆者が主張する「知の体力」をつけるための勉強にはどのようなものがあるか・話し合うこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、効果的に話す。 話したり聞いたりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てる。 文体の特色について理解する。 	評論 水の東西 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章の具体例と抽象的表現を的確にとらえている。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てについて理解している。(記点) 同音異義語について理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(記分) 	文章の内容をふまえて、日本と西洋の文化の違いについて書くこと。/段落の役割や対比関係に注意して読むこと。
古文 ／ 前期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 言語文化の特質に気付き、伝統的な言語文化について理解する。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	宇治拾遺物語 児のそら寝 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章を表現に即して読み、「児」や「僧」の心情や人物像をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 古語と現代語の共通点、相違点について気付いている。(行観) 歴史的仮名遣い・語句の意味について理解している。(記確) 	古典を現代の物語に置き換えること。
		宇治拾遺物語 絵仏師良秀 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章を表現に即して読み、「良秀」の心情や人物像をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味について理解している。(行観) 文章が語り継がれてきた理由を考え、作品としての価値に気付いている。(行観) 文語のきまり(歴史的仮名遣い・動詞・形容詞・接続助詞「ば」)を理解している。(記点) 	本文に使われている形容詞をすべて抜き出し、活用の種類と活用形を調べること。
		沙石集 孝孫 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況をとらえる手掛かりとしている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味について理解している。(記確) 「老人を捨てて」という構成の物語が、さまざまな時代・内容で書かれていることに気付いている。(行観) 文語のきまり(動詞・形容詞・形容動詞)を理解している。(記点) 	文章の内容と同じ構成の文章を調べて、感想を話し合うこと。
漢文 ／ 前期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の形態に応じた表現の特色に注意して読む。 我が国の文化と外国文化との関係に気付く。 訓読のきまりについて理解する。 	入門一			<ul style="list-style-type: none"> 漢文訓読の文体に注意しながら読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文と現代日本語について、文の構造上の違いを理解している。(行観) 訓読のきまり(訓点を付いた訓読方法・書き下し文)を理解している。(記点) 漢文訓読の文体が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。(行観) 	文章のリズムを意識しながら、音読すること。
		入門二				<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(再読文字の意味・用法、置き字の意味・用法)を理解している。(記点) 	
現代文 ／ 前期中間②まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。 常用漢字の読みに慣れ、また正しく書く。 	小説 羅生門 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、その人物像をまとめている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味には広がりがあることを理解している。(行観) 常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。(記点) 	文章を読み比べ、内容や表現の仕方について感想を書くこと。/5W1Hをとらえて読むこと。比喩表現や登場人物の行動・発言の内容をとらえ、その心理や人物像をまとめること。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。 文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 話題について様々な角度から検討して自分の考えを持つ。 	詩 六月 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 詩の構成やリズム感を確かめ、その特徴について考察している。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 詩の構成やリズムが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。(行観) 	情景や心情の描写を取り入れて、詩をつくること。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約したり詳述したりする。 言語の役割について理解する。 文章の組立てや語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。 	詩 I was born 関連教材	<ul style="list-style-type: none"> 詩に特徴的な色彩である「白」に対しての認識を自らの内部に形成している。(行観) 		<ul style="list-style-type: none"> 散文詩の形式について理解している。(行観) 	文章の表現の特色について自分の考えを発表すること。	
	<ul style="list-style-type: none"> 対象を適切な表現の仕方を書いて書く。 文章の組立てについて理解する。 	評論 ものことば 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「もの」と「ことば」の関係を読み取り、「ことば」の特質についてまとめている。(行観) 「実念論」と「唯名論」について理解し、「唯名論的な考え方」について、分かりやすく説明している。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の虚構性と人間世界との関わりについて理解している。(記分) 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(記点) 	日本語と英語の表現の特色や違いについて調べ、話し合うこと。/現状分析の内容をとらえ、具体例と抽象的見解を対応させて読むこと。	
	表現2 文章要約		<ul style="list-style-type: none"> 文章の中心的部分と付加的な部分とを、書き分けている。(記分) 		<ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てについて理解している。(記分) 	評論文の内容を指定字数でまとめること。	

古文 ／ 前期 中間 ② まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	徒然草 つれづれなるまゝに／友とすにわろき者 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 序段の内容から、筆者がなぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。(行観) 「わろき友」「よき友」について、どうして筆者がこのように描いているのかをとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味について理解している。(記確) 文語のきまり(動詞・形容詞・形容動詞)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	兼好法師や徒然草について調べてまとめること。
		徒然草 神無月のころ 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「この木ならましかいば」について、どうして筆者がこのように描いているのかをとらえている。(記分) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(過去の助動詞や、「なり」の識別)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	他の章段と内容の比較や関連づけを行い、作者の思想について話し合うこと。
		徒然草 同じ心ならん人 と 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 場面の変化、心情の内容など文章の筋道を的確にとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(推量の助動詞や、係り結び)を理解している。(記点) 	作者の友人についての思いについて自分の考えも含めて、話し合うこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容に応じた表現の特色に注意して読む。 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	徒然草 ある人、弓射ることを習ふに 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 漢文調の表現や修辭法など筆者の工夫をとらえて読んでいる。(記確) 筆者がなぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。(記確) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味について理解している。(記確) 文語のきまり(助動詞「べし」)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	文章の表現上の工夫について話し合うこと。
		徒然草 丹波に出雲といふ所あり 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 言動や情景の描写から、「聖海上人」の心情の変化を読み取っている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(助動詞「り」「けり」「す」「む」「ぬ」「べし」)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	登場人物の行動について自分の考えを話し合うこと。
		徒然草 奥山に猫またといふものありて 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況をとらえる手掛かりとしている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(「なり」「し」の識別)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	文章の構成上の工夫について話し合うこと。
	徒然草 花は盛りに 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「月の見所」「花の見所」について、どうして筆者がこのように描いているのかをとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(推量の助動詞)を理解している。(記点) 	作者の自然や人事に対する姿勢について自分の考えを発表すること。	
	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、題材を選ぶ。 書いた文章について自己評価や相互評価を行い、自分の表現に役立てる。 文章の組立てや語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。 常用漢字を正しく書く。 	【読み継がれる古典】友人の条件	<ul style="list-style-type: none"> 『徒然草』の中から、目的にふさわしい章段を適切に選んでいる。(記分) 読み手を意識した適切な用語や引例などをとらえている。(行分) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てについて理解している。(記分) 主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。(記点) 	情景や心情の描写を取り入れて、随筆を書くこと。	
漢文 ／ 前期 中間 ② まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 我が国の文化と外国文化との関係について気付く。 訓読のきまりについて理解する。 国語における言葉の成り立ちを理解する。 	漁夫之利 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「蚌」「鹵」「漁者」をどのように筆者が描いているのかをとらえ、「漁父の利」という言葉の意味の深さに気付いている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(否定の「不」の用法)を理解している。(記点) 日本語としての「漁夫の利」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記確) 	故事成語について調べてまとめること。
		矛盾 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「楚人」の言葉をもとに筆者が描いているのかをとらえ、「矛盾」という言葉の意味の深さに気付いている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(助詞・助動詞として読む語は平仮名で書き下すきまり)を理解している。(記点) 日本語としての「矛盾」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記確) 	「矛盾」という言葉を用いて文章を書くこと。
		狐借虎威 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「百獸」「虎」「狐」をどのように筆者が描いているのかをとらえ、「虎の威を借る狐」という言葉の意味の深さに気付いている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(置き字の意味・用法)を理解している。(記点) 日本語としての「虎の威を借る狐」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記確) 漢語が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。(行観) 	故事成語について調べてまとめること。
		朝三暮四 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「朝三暮四」と「朝四暮三」とをどのように筆者が描いているのかをとらえ、「朝三暮四」という言葉の意味の深さに気付いている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(再読文字の意味・用法)を理解している。【知・理】(記述の点検) 日本語としての「朝三暮四」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。【知・理】(記述の確認) 漢語が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。【知・理】(行動の確認) 	故事成語について調べてまとめること。
		<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を要約したり詳述したりする。 文章の組立てについて理解する。 	評論 時間と自由の関係について 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「時間」について説明されている箇所を要約したり、分かりやすく説明したりしている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てについて理解している。(行観)
現代文 ／ 前期 期末 まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約したり詳述したりする。 文章の内容に応じた表現の特色について理解する。 国語における表現の特色、語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。 	評論 無痛化する社会のゆくえ 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 「無痛化」というキーワードを用いて展開される論を読み取り、筆者の意図する内容を説明できる。(行観・記点) 敬体を用いた文末表現の効果を、常体と比較しながら理解している。(行観・記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 同音異義語について理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(記分) 	本文の具体例となるような話を自分でも探して発表してみる。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の形態や文体、語句などを工夫して書く。 適切な表現の仕方を考えて書く。 表現の特色や言語の役割を理解する。 	表現3 手紙		<ul style="list-style-type: none"> 文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方を書いている。(記確) 相手や目的などによって、簡潔な述べ方や丁寧な述べ方や、断定的な述べ方や婉曲的な述べ方などを適切に使い分けしている。(記分) 	<ul style="list-style-type: none"> 手紙やメールに固有の表現の技法や語句の用い方などがあることについて理解している。(記分) 	相手や目的に応じた語句を用い、手紙を書くこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 文語のきまりや表現の特色を理解する。 	伊勢物語 茶川 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 地の文と和歌の関係をもたえて男の心情をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 歌物語における和歌の修辭や、語句の用い方について理解している。(行観) 文語のきまり(助詞の種類と働き)を理解している。(記点) 	文章の構成上の工夫について話し合うこと。
古文 ／ 前期 期末 まで		伊勢物語 東下り 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 四首の歌を比較して、男の心情をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(接続助詞「ば」同格の格助詞「の」)を理解している。(記点) 歌物語における和歌の修辭や、語句の用い方について理解している。(行観) 	在原業平について調べまとめること。
		伊勢物語 筒井筒 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 贈答歌の手法を理解して、登場人物の心情をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(係り結び)を理解している。(記点) 和歌の修辭や、語句の用い方について理解している。(記確) 	文章中の登場人物の心情について自分の考えを述べる。
		伊勢物語 あづさ弓 関連教材		<ul style="list-style-type: none"> 和歌に描かれている人物の心情を表現に即して読んでいる。(記確) 和歌の修辭や、語句の用い方について理解している。(記確) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(「に」の識別)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記認) 	さまざまな文章を読み比べ、和歌という表現の効果について感想を述べる。

漢文／前期期末まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 我が国の文化と外国文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。 訓読のきまりについて理解する。 国語における言葉の成り立ちを理解する。 	管鮑之交 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、歴史的背景も含めて読み深めている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化は、中国文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。(行観) 中国の伝統的な名づきの習慣を理解し、我が国の文化との関係に気付いている。(行観) 日本語としての「管鮑の交わり」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記確) 語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。(記確) 	人間関係を表わす成語とそのもととなる話を調べて発表すること。
		晏子之御 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(複合語の用法)を理解している。(記点) 漢語が、現代語の文章表現の骨格の一つとなっていることに気付いている。(行観) 	漢文でよく用いられる複合語の読み方について調べてまとめること。	
		鶏口牛後 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化は、中国文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。(行観) 日本語としての「鶏口牛後」「合従連衡」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記確) 和漢異義語「故人」「人間」「百姓」「城」について、日本語での意味と漢文での意味を理解している。(記確) 	中国戦国時代の外交政策について調べてまとめること。	
現代文／後期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約したり詳述したりする。 我が国の伝統的な文化に則った語句の意味や用法を理解し、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。 	評論 「間」の感覚 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 具体例と筆者の抽象的見解を的確にとらえている。(記点) 筆者の主張を一文にまとめて表現できる。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の生活、美意識や倫理と深く結びついていた「間」の感覚について理解し、「間」の字を含む二字熟語を複数あげて意味により分類できる。(記分) 	筆者の主張の具体例となるものを話し合っあててみる。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 国語における表現の特色について理解する。 文章の語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。 	短歌 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 三十一文字のリズムや句切れをふまえて短歌を読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 短歌の特色に気付き、日本の伝統的な言語文化に対する関心を広げている。(行観) 詠嘆表現、体言止め、反語表現、命令表現などが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。(記確) 	情景や心情の描写を取り入れて、短歌をつくること。
		俳句 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 十七文字のリズムや切れ字をふまえて俳句を読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の特色に気付き、日本の伝統的な言語文化に対する関心を広げている。(行観) 体言止め、切れ字、対比、比喩などが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。(記認) 	俳句をつくり、句会を開くこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 文章の組立てについて理解する。 	評論 動的平衡の回復 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 現状を分析している箇所と結論部分とを的確にとらえて、筆者の考えを読み取っている。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の組立てについて理解している。(記検) 	自然環境と現代生活の関係について話し合うこと。/現状分析の内容をとらえ具体例と抽象的見解を対応させること。
<ul style="list-style-type: none"> 論理の構成や展開を工夫して自分の考えを文章にまとめる。 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てる。 常用漢字を正しく書く。 	表現4 意見文		<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えの妥当性を裏付ける、客観性や信頼性の高い資料を用い、自らの論が成り立つ根拠を示している。(記確) 自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしている。(記分) 		<ul style="list-style-type: none"> 主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。(記確) 	出典を明示して文章や図表などを引用し、意見文を書くこと。	
古文／後期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	竹取物語 なよ竹のかぐや姫 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、「かぐや姫」や「翁」の心情や状況をとらえる手掛かりとしている。(記確) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(推量の助動詞・推定の助動詞)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	平安時代の男女の成人の儀式について調べてまとめること。
		竹取物語 天人の迎へ 関連教材				<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(敬語の種類・敬意の対象)を理解している。(記点) 	『竹取物語』全文を読み感想文を書くこと。
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 語句の意味や表記の仕方を理解する。 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	枕草子 春はあけぼの／近うて遠きもの、遠くて近きもの 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に表れている筆者の思考の流れに目を向け、筆者の美的価値観をとらえている。(記確) 句読点による違いをふまえて読んでいる。(記点) 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味や表記の仕方について理解している。(記確) 語句の意味について理解している。(記確) 	兼好法師と清少納言の景物の取り上げ方について話し合うこと。
		枕草子 雪のいと高う降りたるを 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、登場人物の心情や状況をとらえる手掛かりとしている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(敬語の種類・敬意の対象)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記確) 	清少納言について調べまとめること。
	枕草子 中納言参り給ひて 関連教材				<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(敬語の種類・敬意の対象)を理解している。(記点) 	さまざまな文章を読み比べ、作者や登場人物について話し合うこと。	
漢文／後期中間①まで	<ul style="list-style-type: none"> 詩に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 我が国の文化と外国文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。 漢詩のきまりについて理解する。 	絶句 関連教材			<ul style="list-style-type: none"> 情景や心情を、どうして筆者がこのように描いているのかをとらえ、修辭の表現効果に気付いている。(記確) 	<ul style="list-style-type: none"> 絶句の形式や起承転結・語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。(行観) 語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。【知・理】(記述の確認) 	詩に表現された光景の場所や心情の背景を調べ、鑑賞文を書くこと。
		律詩 関連教材				<ul style="list-style-type: none"> 律詩の形式や対句表現・語句・語彙の構造的な仕組みについて理解している。(行観) 	詩に表現された光景の場所や心情の背景を調べ、鑑賞文を書くこと。

現代文 後期中間②まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要に応じて要約したり詳述したりする。 語句の意味や用法を理解し、語彙を豊かにする。・常用漢字の読みに慣れ、また正しく書く。 	<p>評論 命は誰のものなのか 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 医学の発達と死の問題の複雑化との関連を詳しく説明できる。(記点) 筆者の主張の要点を整理して説明できる。(記検) 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(記点) 常用漢字の音訓を正しく読み、また文脈に応じて正しく書いている。(記点) 	本文をふまえて自分の意見を書くこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決したり考えを深めたりするために、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合う。 話し合ったことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てる。 言語の役割について理解する。 	<p>表現5 ディベート</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手の考えをふまえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。(行確認) 自分や他の生徒の、話すこと・聞くこと、話し合うことを評価し、直すべき点を明らかにしている。(行観) 			<ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。(行観) 	反論を想定して発言したり、疑問点を質問したりしながら討論を行うこと。	
古文 後期中間②まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 我が国の伝統的な言語文化について理解する。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	<p>万葉集 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 長歌や短歌の形式・枕詞をふまえて読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌という表現方法の効果や、その価値について理解している。(行観) 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記観) 	さまざまな和歌を読み比べ、内容について感想を述べること。	
		<p>古今和歌集 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 掛詞の使い方をふまえて読んでいる。(行観) 			
		<p>新古今和歌集 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 体言止めや本歌取りの効果をとらえて読んでいる。(行観) 			
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図をとらえる。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	<p>土佐日記 門出 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 表現の技法や文体など筆者の工夫をとらえて読んでいる。(記観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(「なり」「ぬ」の識別)を理解している。(記点) 	文章(の文体)にこめられた筆者の意図について話し合うこと。	
	<p>土佐日記 忘れ貝 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 文章表現から登場人物の心情や状況をとらえている。(行観) 歌のやりとりの手法を理解して、登場人物の心情をとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(「なむ」の識別)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記観) 	当時の船旅について調べて発表すること。		
	<p>土佐日記 帰京 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 心情の推移を的確にとらえている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(「こそあれ、」)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記観) 	文章(の最後の部分)に込められた筆者の意図について話し合うこと。		
漢文 後期中間②まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 我が国の文化と外国文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味関心を広げる。 国語における言葉の成り立ちを理解する。 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 	<p>論語 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 孔子が理想とした生き方・人との関わり方を表現に即して読み取り、自身の生活経験から読み深めている。(記観) 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化は、中国文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。(記点) 	孔子の生き方や思想について調べて発表すること。	
		<p>孟子 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 孟子が理想とした政治のあり方を表現に即して読み取り、自身の内面と重ねて読み深めている。(記観) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語としての「五十歩百歩」という言葉が歴史的にみてどのように成立してきたかを理解している。(記観) 	儒家思想が日本文化に与えている影響を調べて発表すること。	
		<p>【読み継がれる古典】弟子 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 表現の技法や語句の使い方など筆者の工夫をとらえて読んでいる。(行観) 		さまざまな文章を読み比べ、感想を述べること。	
現代文 後期期末まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 国語における表現の特色について理解する。 	<p>小説 城の崎にて 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、「私」に至った認識のもとに「生命」について自分の考えを深めている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 「同語の繰り返し」「擬音語・擬態語」「主語の抑制」などの表現技巧の特色と効果について理解している。(記点) 筆者の体験が言語化され、文学作品となることで、筆者の感情が昇華されて普遍的な意味を持つようになることを理解している。(行観) 筆者の体験が言語化され、文学作品となることで、筆者の感情が昇華されて普遍的な意味を持つようになることを理解している。(行観) 	自分の体験をふまえて八〇〇字程度の文章を書くこと。/文体に注意して朗読すること。文章中の時間軸を把握し、登場人物の行動や内面の変化をとらえること。	
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。 言語の役割について理解する。 	<p>評論 記録すること 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 「主観」「対象」「概念」「相克」「拮抗」などの語句に注意して文脈をとらえ、筆者の考えを、過不足なく読み取っている。(記観) 	<ul style="list-style-type: none"> 言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。(行観) 異文化の理解を可能にする言語の特質と、異文化を言語で表現することの難しさを理解している。(行観) 	自身の言語生活をふまえて、言語の特色について話し合うこと。/接続語やキーワードに注意して読むこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> 話したり聞いたりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てる。 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いる。 語句の意味を理解し、語彙を豊かにする。 	<p>表現6 プレゼンテーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分や他の生徒の、話すこと・聞くこと、話し合うことを評価し、直すべき点を明らかにしている。(行観) 		<ul style="list-style-type: none"> 情報源を選択し、そこから得た情報を評価したり、目的に応じて適切に加工したりしている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。(行観) 	調査したことをまとめて発表すること。	
古文 後期期末まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	<p>平家物語 祇園精舎 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 対句表現や対句構造をふまえて読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(助動詞「ごとし」)を理解している。(記点) 語句の意味について理解している。(記観) 	文章のリズムを意識しながら、音読すること。	
	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。 文語のきまりや語句の意味を理解する。 	<p>平家物語 木曾の最期 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように対比的に描いているのかをとらえ、その効果について考えている。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 文語のきまり(音便・敬語)を理解している。(記点) 語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。(記観) 	さまざまな文章を読み比べ、内容について話し合うこと。	
	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解する。 	<p>おくのほそ道 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 俳諧の表現技法をふまえて読んでいる。(行観) 		さまざまな文章を読み比べ、内容について話し合うこと。	
漢文 後期期末まで	<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。 訓読のきまりについて理解する。 	<p>雑説 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 論説文という文章形態をふまえて読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(部分否定と全部否定)を理解している。(記点) 	文章の表現上の工夫(論理構成や比喩表現)について話し合うこと。	
		<p>雑説 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 「雑説」との文章形態の共通点をふまえて読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(多義の助字の用法)を理解している。(記点) 		
		<p>詩人貪求好句 関連教材</p>			<ul style="list-style-type: none"> 詩話という文章形態をふまえて読んでいる。(行観) 	<ul style="list-style-type: none"> 訓読のきまり(助字「如」「若」の用法)を理解している。(記点) 	教材で取り上げられている詩評に対して、意見をまとめて発表すること。	

令和2年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
現代社会	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 『現代社会』	浜島書店 最新図説 現社 東京書籍 要点マスター 現代社会 演習ノート		

科目の目標	<p>1. 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。</p> <p>2. 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。</p> <p>3. 自らの個性を發揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。</p>		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

「現代社会」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 1年

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準				学習内容	言語活動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	第2部 現代の社会と人間 第1章 青年期と自己形成の課題	4 5	12	現代日本の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて考えようとしている。	グローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	様々な写真や統計資料などから、現代日本の特色や社会の変容などを適切に読み取っている。	青年期は、自己の内面と現実社会の葛藤の中から、アイデンティティを確立する時期であることを理解している。また、思想・宗教・科学など文化には様々な領域があることに気付き、それらが社会生活の様々な場面で影響を与えていることを理解している。	1 現代社会と青年の生き方 ・現代社会の特質 ・現代社会における青年 2 よりよく生きることを求めている。 ・哲学と人間 ・宗教と人間 ・近代科学の考え方	・レポート 今日の環境問題から自分の考察対象となる課題を設定し、その課題について考察 ・紙上対話 課題レポートに対する紙上での意見交換 ・討論 各自がまとめたことをもとに、グループやクラスでの話し合い
2	第2部 現代の社会と人間 第2章 日本国憲法と民主政治	6 7 9 10	23	日本国憲法の三大原理である基本的人権の尊重や国民主権、新しい人権、国会・内閣・裁判所について関心を高め、自己の生き方と関連させながら考えようとしている。	基本的人権の内容である自由権・参政権・社会権が歴史的にどのように発展してきたか、日本における人権保障の体系はどのようなものであるのか、日本国憲法でいう国民の義務とは民主政治の実現にとってどのような意味を持つのか考察している。	人権保障の考え方と、日本国憲法をはじめとした法に関する様々な資料を活用し、学習に必要な情報を適切に選択して、読み取ったりまとめたりしている。	日本国憲法の成立過程と、その基本原理がどのように民主主義的な内容を持つものであるのか、基本的人権がどのように保障されているのか、新しい人権についての考え方、人権保障と公共の福祉の関係などについて理解している。また、国民主権に基づき、国会・内閣・裁判所がどのように組み立てられているかを理解している。	1 民主政治とは ・民主政治の成立 ・基本的人権の確立 ・世界の政治体制 2 日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法と三つの原理 ・基本的人権の保障（1） ・基本的人権の保障（2） ・新しい人権と人権保障の進展 3 日本の政治機構 ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法	・法の下での平等に関する資料を読み、差別のない世の中をつくるためにはどうすればよいかについて議論を行う。 ・平等権、自由権、社会権、新しい人権に関する判例を読んで理解し、その内容を説明する。
3	第2部 現代の社会と人間 第3章 個人の尊重と法の支配	11	5	なぜ基本的人権の保障や法の支配の実現が大切かを現代の政治や司法などのとの関連に留意して考えようとしている。	生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察し、個人の尊重を基礎として、基本的人権の保障と法の支配が相互に関連していることに気づき、表現している。	裁判員制度に関する資料の収集を通して、国民の司法参加の意義、裁判員制度の概要などについての有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	個人の尊重の原理を基礎として、日本国憲法と関連させながら、基本的人権の保障に関する理解を深めるとともに、法の支配や法や規範の意義、役割、司法制度の在り方などについて理解している。	1 個人の尊重と法の支配 ・法の支配と人権 ・市民生活と法 ・司法と人権	・法と道徳は何が違うのか、また両者はどのように関係しているのか、を考えて意見交換を行う。
4	第2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉	12 1 2 3	30	身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、国や地方の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸問題について意欲的に追究しようとしている。また、消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在、将来が密接に関わっていることに関心を持ち、討論などに積極的に取り組んでいる。	経済成長や景気変動が国民福祉の向上とどのような関係があるのかについて考察している。また、現代の経済社会における個人や企業はどのような目的で経済活動を行っており、経済活動に対してどのような責任があるのか、そしてなぜそのような社会的責任を担う必要があるのかということを判断している。	需要量、供給量と価格の関係や、商品による価格変動の違いなどについて、統計資料などから読み取っている。また、企業の寡占・独占、非価格競争、雇用に関する課題などについて情報を収集・選択し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。	寡占や独占、外部不経済などの市場経済の限界、金融市場の仕組み、中央銀行の役割や金融政策の目的と手段、経済成長の要因、近年の雇用や労働問題の動向、社会保障などについて理解するとともに、市場経済の基本的な考えを身につけ、その考えを活用して経済的事象をとらえている。	1 経済のしくみ ・経済社会の変容 ・現代の企業 ・市場経済のしくみ ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと働き ・中央銀行の役割と金融の自由化 ・政府の役割と財政 3 豊かな生活の実現 ・労働者の権利 ・現代の雇用・労働問題 ・社会保障の役割	・労働環境や働き方に関する話し合いを行う。 ・社会保障に関する資料を分析し、今後の社会保障の在り方について議論を行う。

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学Ⅱ	普通科（内進）	1年	4単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅱ Advanced		問題集 数研出版 サクシード 数学Ⅱ+B 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B	

科目の目標	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数および微分・積分について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数学的活動を通して, 式と証明・高次方程式, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分の考え方に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して, 式と証明・高次方程式, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的に捉え, 論理的に考察し, 表現するとともに, 過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	数学的活動を通して, 式と証明・高次方程式, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分の考えにおいて, 事象を数学的に考察し, 処理する仕方や推論の方法を身につけ, 的確に問題を解決することができる。	数学的活動を通して, 式と証明・高次方程式, 図形と方程式, いろいろな関数および微分・積分の考えにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。

「数学Ⅱ」 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（内進生） 1年

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
5	第1章 方程式・ 式と証明	第1節 整式の乗 法・除法と 分数式	7	<ul style="list-style-type: none"> ・パスカルの三角形に関心をもち、式の展開に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二項定理を活用し、項の係数について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式を用いて式を展開したり、3次式の因数分解をすることができる。 ・整式の除法を行い、商や余りを求めることができる。 ・分数式の乗法、除法、加法、減法を行い、計算することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式について理解し、公式が成り立つための基礎的な知識を理解している。 ・二項定理について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・整式の除法について理解している。 ・分数式の基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート
		第2節 2次方程 式	5	<ul style="list-style-type: none"> ・判別式に関心をもち、解の判別に活用しようとしている。 ・解と係数の関係に関心をもち、解の和や積の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数の拡張や複素数について考察することができる。 ・解と係数の関係を基にして、2次式の因数分解や2次方程式を求めることについて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数の意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・解と係数の関係を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート
		第3節 高次方程 式	5	<ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理を用いることよさを認識し、活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次方程式とその解の関係について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・剰余の定理や因数定理を用いて、余りや因数を求めることができる。 ・高次方程式の解を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート
6	第1章 方程式・ 式と証明	第4節 式と証明	6	<ul style="list-style-type: none"> ・等式、不等式の証明を通して式の性質に関心をもち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・恒等式の性質を基にして、等式の定数の値を定めることができる。 ・不等式の証明を相加平均と相乗平均の大小関係から考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・等式を証明することができる。 ・不等式の基本性質を用いて、不等式を証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例式の意味を理解している。 ・不等式の性質の意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート 前期中間考査②
		第1節 点と直線	10	<ul style="list-style-type: none"> ・直線の方程式に関心をもち、直線の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2点から等距離にある点について考察することができる。 ・2直線の関係を基に直線に関して対称な点を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2点間の距離を求めることができる。 ・内分点、外分点、重心の座標を求めることができる。 ・2直線の交点や点と直線の距離を求めたり、座標を用いて図形の性質を証明したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内分点、外分点について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・直線の方程式の求め方について理解している。 ・2直線の平行や垂直とその条件を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート

9	第2章 図形と方程式	第2節 円	6	<ul style="list-style-type: none"> 円と直線の共有点の個数と判別式の関係に関心を持ち、共有点の個数の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 円と接線の共有点の個数を、判別式や点と直線の距離と関連付けて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円の方程式を求めることができる。 弦の長さや円の接線の方程式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 円の方程式の意味を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート
		第3節 軌跡と領域	7	<ul style="list-style-type: none"> 連立不等式の表す領域に関心を持ち、事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不等式と不等式の表す領域の関係について考察することができる。 連立不等式の表す領域を用いて、事象を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 条件を満たす点の軌跡の方程式を求めることができる。 不等式の表す領域を図示することができる。 連立不等式の表す領域を図示することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 条件と軌跡の方程式の関係を理解している。 	小テスト ノート 前期期末考査
10	第3章 三角関数	第1節 三角関数	18	<ul style="list-style-type: none"> 一般角や弧度法に関心を持ち、それらを事象の考察に活用しようとしている。 三角関数の値の変化をグラフを用いて表すことのよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の性質を図形の対称性などを用いて考察することができる。 三角関数を含む関数の最大・最小を2次関数と関連付けて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の値を求めることができる。 三角関数の相互関係を用いて三角関数の値を求めたり、式を変形したりすることができる。 三角関数のグラフをかくことができる。 三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 扇形の弧の長さや面積と、弧度法との関係について基礎的な知識を身に付けている。 角が属する象限と三角関数の値の正負の関係を理解している。 三角関数の性質を理解し、三角関数の値を求めるための基礎的な知識を身に付けている。 三角関数のグラフの特徴を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート
		第2節 加法定理	15	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の値を、異なる角の三角関数の値を用いて表すことのよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2倍角の公式や半角の公式を導く過程を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 加法定理を用いていろいろな三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式や半角の公式を利用して三角関数の値を求めたり、三角関数を含む方程式や不等式を解いたりすることができる。 三角関数の合成を用いて関数の最大値・最小値を求めたり、方程式を解いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角関数の合成について基礎的な知識を身に付けている。 	小テスト ノート

11	第4章 指数関数と対数関数	第1節 指数と指数関数	8	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数に拡張することに関心を持ち、それらを数の考察に活用しようとしている。 指数関数の値の変化に関心を持ち、それに関連させて具体的な事象を考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数（実数）まで拡張する過程を考察することができる。 指数関数の値の変化の様子や2つの数の大小関係について、グラフを用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 累乗や累乗根を含んだ乗法および除法を計算することができる。 指数関数をグラフに表すことができる。 指数関数を含む方程式、不等式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数を有理数まで拡張することの意義を理解している。 累乗根の意味や指数法則を理解している。 指数関数の式やグラフの特徴を理解している。 	ノート 小テスト
		第2節 対数と対数関数	8	<ul style="list-style-type: none"> 対数の性質について関心を示し、具体的な事象に活用しようとしている。 常用対数が概数を考察する際に有効であることに関心を持ち、具体的な事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 指数の逆関数として対数関数をとらえ、その基本性質を考察することができる。 対数関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができる。 常用対数を活用して数の桁数について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の基本性質を用いた対数の計算ができる。 対数関数のグラフをかくことができる。 対数を含む方程式や不等式を解くことができる。 常用対数を利用して桁数や最高位の数字などを調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対数の意味とその必要性を理解している。 対数の基本性質を理解している。 対数関数の式やグラフの特徴について指数関数と関連させて理解している。 	ノート 小テスト
	第1節 微分係数と導関数	8	<ul style="list-style-type: none"> 平均変化率、微分係数、導関数の考え方に関心を持ち、調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 導関数の意味をグラフと関連づけて、数学的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 導関数の定義に従って、関数を微分することができる。 関数の和、差および定数倍の導関数を求めることができる。 接線の方程式を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 極限値の意味を式とグラフから直観的に理解している。 接線の意味とその方程式の求め方を理解している。 	ノート 小テスト 後期中間考査①	
12	第5章 微分と積分	第2節 導関数の応用	12	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数があることを認識し、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。 導関数を用いて関数の値の変化を考察することに関心を持ち、具体的な事象の考察に関数の値の増減や極大・極小および最大・最小を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数を導く過程について考察することができる。 導関数を用いて関数の値の変化の様子について考察することができる。 3次方程式の解を3次関数のグラフとx軸の位置関係に対応させて考察することができる。 導関数を不等式の証明に活用するために、関数を多面的にみるすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ある関数の定数倍、和および差の導関数を求めることができる。 多項式関数の導関数を求めることができる。 微分係数を用いて、与えられた点における接線の方程式を求めることができる。 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくことができる。また、区間が制限された関数の最大値・最小値を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解している。 微分係数の図形的な意味について理解している。 導関数の正負と関数の増減の関係について理解し、基礎的な知識を身に付けている。 	ノート 小テスト
		第3節 積分	14	<ul style="list-style-type: none"> 定積分の意味や計算の仕方を基に、定積分の性質について考察しようとしている。 積分の考えの有用性を認識し、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分の考えに対比させて、不定積分や定積分について考察することができる。 定積分が面積を表していることを導く過程について考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の定数倍、和および差の不定積分や定積分を求めることができる。 多項式関数の不定積分を求めることができる。 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分の考えに関連させ、不定積分および定積分の意味について理解している。 直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について理解している。 	ノート 後期中間考査②
			140					

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学A	普通科（内進）	1年	2単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学A Advanced		問題集 数研出版 サクシード 数学I+A 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学 I + A	

科目の目標	場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考え，表現することができる。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，よりよく問題を解決することができる。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。

「数学A」 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（内進生） 1年

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4	第1章 場合の数と 確率	第1節 場合の数	20	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数の考察に樹形図を活用しようとしている。 ・順列と組合せの違いに関心をもち、組合せの総数を求めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円順列、重複順列について考察することができる。 ・組分けの問題や同じものを含む順列について、組合せの考え方を使って考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和集合や補集合についてベン図を用いて表現し処理することができる。 ・和の法則、積の法則を用いて場合の数を求めることができる。 ・条件のある順列について図などを用いて表現し処理することができる。 ・条件のある組合せの問題について見方を変えるなどして処理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和集合や補集合の要素の個数を求めるための基礎的な知識を身につけている。 ・順列に関する基礎的な知識を身につけている。 ・組合せの用語、記号、公式の意味を理解している。 	小テスト ノート 前期中間考査①
		第2節 確率とその 基本性質	10	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の定義にしたがって確率を求めようとしている。 ・積事象、和事象、排反事象、確率の基本性質などに関心をもち、確率の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の確率を、集合を用いて求めることができる。 ・和事象や余事象の確率を、集合を用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の加法定理を使って、和事象や余事象の確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行、事象、事象の確率の意味を理解している。 	小テスト ノート
		第3節 いろいろな 確率	12	<ul style="list-style-type: none"> ・条件つき確率や確率の乗法定理に関心をもち、事後の確率の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反復試行の確率を用いて、具体的な問題を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行が独立であるときの、その確率を求めることができる。 ・独立な試行の確率を基にして、反復試行の確率を求めることができる。 ・条件つき確率の式や確率の乗法定理を用いて確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の意味を理解し、その確率の求め方について基礎的な知識を身につけている。 ・反復試行の確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。 ・条件つき確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。 	小テスト ノート 前期中間考査②
6 7 9 10 11	第2章 整数の性質	第1節 約数と倍数	7	<ul style="list-style-type: none"> ・最大公約数と最小公倍数の考察に素因数分解を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公約数や公倍数の考えを用いて、事象を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素因数分解や約数を求めること、約数や倍数の性質を使って2元1次不定方程式を解くことなどができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約数や倍数の性質について基礎的な知識を身につけている。 ・最大公約数・最小公倍数を求めるための基礎的な知識を身につけている。 	小テスト ノート
		第2節 ユークリッドの互除法と不定方程式	11	<ul style="list-style-type: none"> ・除法の性質に関心をもち、整数の分類の考察に活用しようとしている。 ・互除法の原理に関心をもち、最大公約数の考察に互除法を活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユークリッドの互除法を用いて、2元1次不定方程式の整数解を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数を余りで分類して、整数の性質を証明することができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 ・互いに素である2つの整数の関係をj用いて2元1次不定方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の除法の性質や余りによる整数の分類の仕方を理解している。 ・2元1次不定方程式の整数解を求めるための基礎的な知識を身につけている。 	小テスト ノート 前期期末考査
		第3節 整数の性質の活用	10	<ul style="list-style-type: none"> ・数の仕組みに関心をもち、n進法の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分母の素因数に着目し、既約分数が有限小数となる条件を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2進法の計算ができる。 ・与えられた分数が有限小数になるか循環小数になるかを見分けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記数法の意味を理解している。 	小テスト ノート
			70					

令和2年度 数学科 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学B	普通科（内進）	1年	1単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学B Advanced		問題集 数研出版 サクシード 数学Ⅱ+B 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B	

科目の目標	数列およびベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数学的活動を通して、数列またはベクトルの考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して、数列またはベクトルの考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	数学的活動を通して、数列またはベクトルの考えにおいて、事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決することができる。	数学的活動を通して、数列またはベクトルの考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

「数学B」 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（内進生） 1年

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
2	第2章 ベクトル	第1節 平面上の ベクトル	10	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味や、演算における数との違いや類似性に関心をもち、問題解決に活用しようとしている。 内積の計算や図形的な意味に関心をもち、図形の性質の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルと数との違いや類似性について考察することができる。 内積の図形的な意味を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの演算を行うことができる。 内積の計算やそれを用いたベクトルの演算を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの意味や演算の仕方を理解している。 ベクトルの内積の定義や図形的な意味を理解している。 	ノート 小テスト 後期中間考査②
		第2節 ベクトル の応用	14	<ul style="list-style-type: none"> ベクトルの概念や表現の仕方に関心をもち、平面図形の性質の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図形の性質の証明や計量について、ベクトルを用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルやベクトル方程式などを適切に用いて、図形の性質の証明や計量を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置ベクトルやベクトル方程式の意味を理解している。 	ノート 小テスト 後期期末考査
3		第3節 空間にお けるベクトル	11	<ul style="list-style-type: none"> 空間座標や空間ベクトルの概念、表現の仕方に関心をもち、それらを空間図形の考察に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質の証明や計量について、空間座標や空間ベクトルを用いて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間座標や空間ベクトルを適切に用いて、図形の性質の証明や計量を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 空間における分点や平面上の点の位置を、空間座標や空間ベクトルを用いて表したり求めたりする方法を理解している。 	ノート 小テスト
			35					

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

科目名	学科名	対象学年	単位数
物理基礎	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
改訂版 新編 物理基礎		リードLight物理基礎（数研出版）	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

1進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	1 速度 ・速さと速度，平均の速さと瞬間の速さ，相対速度について理解させる。 【発展】平面上の速度、相対速度を理解させる。	3	2 物体の運動を相対速度の関係を用いて説明しようとし、意欲的に探求しようとする。	速度の意味・考え方，またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解し，表現することができる。	物体の運動を測定し，グラフで表すことができる。	グラフを見て物体の運動の様子を理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
4		2 加速度 ・直線運動における加速度の定義を理解させる。	2			加速度の概念を理解し，時間と距離・速度の関係をグラフや式表すことができる。	等加速度直線運動の3つの式の扱いに習熟し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
4		3 落体の運動 ・落体の運動は，加速度の大きさ g の等加速度直線運動であること，放物運動は，水平方向の等速直線運動と，鉛直方向の等加速度直線運動とに分解して扱えることを理解させる。 【発展】水平投射・斜方投射の式を理解させる。	3	落体の運動を学ぶ意義を感じ，意欲的に探求しようとする。	放物運動を2方向の運動に分解して式の運用ができる。		自由落下，鉛直投射を等加速度直線運動として捉え，理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査①
5	第2章 運動の法則	1 力とのはたらき ・力が運動や変形の原因となること，ベクトル量であることを理解させる。	4	力のはたらき・性質と運動との関係について，日常に見られる様々な運動等を通して関心を持ち，科学的に探究しようとする。	日常に見られる運動を通して物体にはたらく力を見いだした自らの考えを的確に表現できる。			・ワークシート等 ・前期中間考査①
5		2 力のつりあい ・重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について ・力の合成・分解，つり合い，作用・反作用の法則について理解する。	4		重力・垂直抗力・摩擦力・弾性力など様々な力について理解している。	力の合成・分解，つり合い，作用・反作用の法則について作図で示すことができる。	つり合いの2力と作用・反作用を正しく区別できるように理解している。	・ワークシート等 ・前期中間考査②
6		3 運動の法則 ・運動の3法則を学習し運動方程式によって力と加速	4	「物体の運動状態は，受ける力とどのような関係にあるか」の発問に興味・関心を示している。	慣性の法則，運動方程式が理解でき，問題解決にあたって式の運用ができる。		重力による加速度をもつ落下運動について正しく理解し，知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査② ・実験レポート

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

1進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
6		4 摩擦を受ける運動 ・静止摩擦と動摩擦の大きさや向きについて学習し、動摩擦を受ける物体の運動を運動方程式で説明できるようにさせる。	3	静止摩擦と動摩擦の違いに注目し、関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		摩擦力の実験から摩擦係数を確認し、的確に整理している。	摩擦力について理解している。それがはたらくときの物体の運動について正しく理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期中間考査② ・実験レポート
6		5 液体や気体から受ける力 ・流体からの受ける力（圧力・浮力・抵抗力）について学習し、その大きさや向きを説明できるようにさせ	3	水中や空気中で圧力があることに関心を寄せ、意欲的に探求しようとする。		空気抵抗を受けながら落下する物体について、その運動の特徴を解析し、的確に整理している。		・ワークシート等 ・前期期末考査
7 9	第3章 仕事と力学的エネルギー	1 仕事 ・仕事の定義、仕事の原理、仕事率について理解さ	3	エネルギー概念と仕事について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	仕事の定義、仕事の原理について考察し、考えを表現している。		仕事・仕事の原理・仕事率・エネルギーという基本的な概念を理解し、知識を身につけ、活用できる。	・ワークシート等 ・前期期末考査
9		2 運動エネルギー ・運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係を式を使って説明できるようにさせる。	2	運動している物体について速度とエネルギー量の関係を身近な現象とを結びつけて意欲的に考えようとしている。	運動エネルギーの式を理解し、運動エネルギーと仕事の関係について式の運用が正しくできる。		「運動エネルギーの変化＝された仕事」の右辺の仕事は、仕事をする際の力の種類（保存力か非保存力か）を問わないことを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・前期期末考査
9		3 位置エネルギー ・高い所にある物体は他の物体に対して仕事をすることから、重力による位置エネルギーをもっていることを理解させる。	2	位置エネルギーは、運動エネルギーのように動きがあり目立つものではないが、仕事をする能力を「秘めて」いることに興味をもつことができる。	弾性力による位置エネルギー、重力による位置エネルギー、それぞれについて考察し、考えを表現している。			・ワークシート等 ・前期期末考査
10		4 力学的エネルギー ・重力と弾性力による位置エネルギー、およびその仕事との関係を理解し、力学的エネルギーの保存について、正しく式を使って説明できるようにさせる。	4	力学的エネルギー保存の法則の有用性を知り、その法則をいろいろな運動を分析するために意欲的に活用しようとする。		力学的エネルギー保存則を実験から確認し、的確に整理している。	保存力と力学的エネルギー保存則の関係について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

1進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
10	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	1 熱と熱量 ・温度と熱運動、熱の移動とエネルギーと関連づけて比熱、熱容量を理解し、熱量の保存を説明できるようにさせる。	4	熱・温度・エネルギーの関係について関心を持ち、意欲的に探究している。	温度と熱運動、熱の移動とエネルギーについて考えを表すことができる。		温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解し、知識を身につけている	・ワークシート等 ・後期中間考査①
11		2 熱と物質の状態 ・物質の三態や熱膨張を熱運動で捉えて理解させる。	2	同じ物質でも温度を変えると、固体、液体、気体になる。なぜこのようなことが起こるのかに興味・関心を示している。	物質の三態を熱運動の観点からモデル化して考えを表現できる。		教科書にある融解熱・蒸発熱の表から水の潜熱の大きさに気づき、身近な現象に置き換えて理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
11		3 熱と仕事 ・力学的仕事と内部エネルギーの変化から、熱がエネルギーの一形態であることを説明できるようにさせる。 ・熱力学第一法則を理解させる。	2		熱力学第一法則について式の運用が正しくできる。		力学的仕事と内部エネルギーの変化から、熱がエネルギーの一形態であることを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
11		4 不可逆変化と熱機関 ・熱現象における不可逆変化と熱機関の熱効率を理解する。	2	熱機関が、われわれの生活の中でどのように活用されているか、関心をもっている。			熱機関と熱機関の効率について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
11	第3編 第1章 波の性質	1 波と媒質の運動 ・波源の振動の伝播が波動であることを理解させる。 ・波を表す要素を説明できるようにさせる。 ・縦波と横波を説明できるようにさせる。	3	波とは何か、媒質と波の伝播について興味を持ち、調べようとする。	波形の移動における周波数や位相について説明することができ、媒質の振動を関連づけて考え、表現することができる。		縦波と横波の違いを理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査①
12		2 重ね合わせの原理 ・波の重ね合わせの現象・独立性・干渉の現象を観察し、その性質を理解させる。 ・波の反射の種類と定常波を理解させる。 【発展】波の干渉、屈折、反射、回折を理解させる。	3		2つの波の独立性や重ね合わせの原理と定常波を関連づけて考え、表現することができる。	波動に由来する現象を観察・実験を通して分析し、論理的に考察観察し、的確に整理している。	波の性質と媒質の端の違いによる反射波の性質を理解している。	・ワークシート等 ・後期中間考査②

「物理基礎」学習内容と評価の年間計画

1進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
1	第2章 音	1 音の性質 ・音の伝わり方・音の3要素・うなりといった、波の性質について理解させる。	4	弦楽器や管楽器での音の発生の原理について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			音が疎密波であることについて理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査②
1		2 発音体の振動と共振・共鳴 ・弦および気柱の振動条件について学び、定常波の発生や共鳴、共振について理解させる。	4		弦や気柱に生じる定常波の固有振動数を表す式についての式の運用が正しくできる。	弦や気柱の共鳴実験を観察し、的確に整理している。	弦の振動と気柱の振動などを通して、共鳴・共振のような現象が起こる原理を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期中間考査② ・実験レポート
2	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗	1 電気の性質 ・静電気の発生、帯電の仕組み、静電誘導、誘電分極について理解させる。 【発展】静電誘導を理解させる。	1	電気に関わる法則に興味をもち、静電気の原理や、導体・絶縁体・半導体のそれぞれの性質について意欲的に探求しようとする。	帯電の仕組みについて考え、表現することができる。		物体の帯電は、自由電子のやりとりによって生じていることが理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期期末考査 ・実験レポート
2		2 電流と電気抵抗 ・オームの法則、直列・並列接続回路の特徴を理解させる。	2		オームの法則、直列・並列接続回路の特徴を理解し、式の運用が正しくできる。	電気回路を水流モデル図として作図することができる。		・ワークシート等 ・後期期末考査
2		3 電気とエネルギー ・ジュール熱発生の仕組みを理解させる。 ・電力や電力量を説明できるようにさせる。	1	電気エネルギーと力学的エネルギーの関連について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。			電力量と電力の意味（およびその公式）を理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期期末考査
2	第2章 交流と電磁波	1 交流 ・交流の発生、交流発電機や変圧器のしくみとはたら	1	家庭用コンセントからくる電気の交流はどのようにして発生するのかということに関心を持ち、意欲的に探求しようとする。	発電所でつくられ利用されている交流の概念と仕組みを考え、表現できる。		交流を遠方の利用者にとくに必要な「変圧器」について理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期期末考査
2		2 電磁波 ・電磁波の性質や種類、その利用法について理解させ	1		電磁波の種類と性質を確認し、電界と磁界の相互の変動が電磁波を伝えることについて考え、表現することができる。		電磁波が日常生活の様々な分野で応用されている例を示して理解し、知識を身につけている。	・ワークシート等 ・後期期末考査

令和2年度 理科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

科目名	学科名	対象学年	単位数
化学基礎	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍・改訂 化学基礎		第一学習社・セミナー 化学基礎+化学 数研出版・三訂版 フォトサイエンス 化学図録	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	物質とその変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、現象を分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実に基づいて科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

「化学基礎」学習内容と評価の年間計画

進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	1 編 物質の構成 1 章 物質の成分と構成元素	1 節 物質の成分 ・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることを理解する。 ・分離, 精製の方法について理解する。	2	・身のまわりの物質が純物質や混合物に分類されることに興味をもつ。	・純物質と混合物の違いが何であるか説明できる。	・混合物をろ過や蒸留, 再結晶, クロマトグラフィーなどにより純物質に分けることができる。	・混合物を分離する操作に, ろ過, 蒸留, 分留, 昇華, 再結晶, 抽出, クロマトグラフィーなどをあげられる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		2 節 物質の構成元素 原子と元素の意味や元素という概念を理解する。	2	・元素の種類や単体, 化合物について興味や関心を高める。	・元素の種類や単体, 化合物について考察し, 比較する。	・同素体の実験による生成・観察などができる。	・単体, 化合物, 同素体について理解する。 ・代表的な成分元素の検出法を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		3 節 物質の三態 物質の三態変化は, 構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか理解する。	2	・物質の三態変化は, 構成粒子の状態がどのように変化して起こっているのか興味をもつ。	・物質を加熱したり冷却したときの, 温度変化をグラフに表すことができる。	・気体分子の熱運動を視覚的に示すことができる。	・絶対温度とセルシウス温度の関係を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
5	2 章 原子の構造と元素の周期表	1 節 原子の構造 原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることを理解する。	2	・原子はいくつかの粒子から構成されていることに気づく。同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	・原子について, どのような粒子から構成されているかを説明することができる。	・電子が負の電荷を帯びた粒子であることを示すことができる。	・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		2 節 電子配置と周期表 ・周期表上の元素の配列のしかたについて理解する。	2	・周期表上の元素の配列のしかたについて興味をもつ。	・周期表の中に周期律が見いだせること, 周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づく。	・マグネシウムとアルカリ土類金属元素の性質の差異を実験により確認することができる。	・元素の, 典型・遷移, 金属・非金属, 陽性・陰性などの分布, および同族元素について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
6	3 章 化学結合	1 節 イオンとイオン結合 ・原子とイオンの違いについて理解する。 ・イオン化について理解する。 ・イオン結晶の性質について理解する。	4	・化学結合の種類や特徴について興味や関心を高める。 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味を持つ。	・イオン結合が生じる理由について考察し, 物質の性質と関連づけることができる。 ・イオンからなる物質の組成式と分子式の違いに気づく。	・イオンの電子配置を模型により示すことができる。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。	・イオン化エネルギー, 電子親和力の概念と周期表上での傾向を説明できる。 ・イオン結晶の名称, 組成式の組み立て方を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		2 節 分子と共有結合 ・共有結合のしくみを理解する。 ・電子式, 構造式の表し方を理解する。 ・分子の形と関連づけて極性について理解する。 ・分子結晶, 共有結合の結晶について, 特徴と違いを理解する。	6	・分子のなり立ちについて興味をもつ。 ・分子からなる物質の性質に興味をもつ。 ・分子には極性分子と無極性分子があることに興味をもつ。	・分子式は分子でできている物質がどのような状態であっても共通で用いられることに気づく。 ・価標を考慮することによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して, 極性分子と無極性分子に分類できる。	・分子模型を用いて, 分子の形を確認する。 ・極性分子と無極性分子の性質の差異を実験により確認することができる。 ・分子の中の原子どうしの結合を, 模型などを用いて表すことができる。	・さまざまな分子を分子式で表すことができる。 ・さまざまな分子を電子式, 構造式で表し, その構造を考慮することができる。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		3 節 金属と金属結合 ・金属特有の性質を理解する。 ・金属の結晶の特徴を理解する。	4	・金属特有の性質に興味をもつ。	・金属特有の性質は, 金属結合が自由電子によるものであることが原因であることに気づく。 ・金属の結晶格子の特徴についてモデルをもとに考察する。	・金属の特性を実験で示すことができる。	・金属もイオン結晶や共有結合の結晶と同じように, 組成式で表されることを理解している。 ・金属の特徴を3点挙げることもができる。	・ワークシートの記述内容の分析
9	2 編 物質の変化 1 章 物質量と化学反応式	1 節 原子量・分子量・式量 ・非常に小さい粒子である原子、分子、イオンの取り扱い方について理解する。	2	・同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をいだく。 原子1個がはにかに小さなものであるかを実感する。	・同位体が存在する場合、平均原子量を求めることができる。 ・質量そのものではなく、基準に対する相対質量で表すことを理解している。		・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を考慮することができる。	ワーク提出 定期考査

「化学基礎」学習内容と評価の年間計画

進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
9		2節 物質質量 ・原子の数え方について理解する。 ・物質質量の定義について理解する。	3	・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。	・ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。 ・モル質量の概念を使い、粒子数・質量と物質質量に関する計算ができる。	・実際の物質の1mol分の量を示すことができる。 ・実際の物質の量を物質質量で表せる。	・気体の場合の1molの体積は共通であることを理解する。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		3節 溶液の濃度 ・溶解という現象を理解させるとともに、溶液の濃度の表し方について理解する。	4	・溶解という現象に興味をもつ。	・計算により濃度を求めることができる。	・あるモル濃度の水溶液をメスフラスコなどを使用して調製することができる。	・質量パーセント濃度、モル濃度の意味を理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		4節 化学反応式とその量的関係 ・多くの化学変化は化学反応式で表されることを理解し、化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	5	・化学反応の表し方について興味関心を高める。	・正しい化学反応式が表せる。化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・化学反応における、物質質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
10	2章 酸と塩基	1節 酸と塩基 酸とは何か、塩基とは何かについて理解する。	2	・酸・塩基について興味や関心を高める	酸・塩基の例からその共通性について考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。	・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめてみるができる。	・酸・塩基の性質と中和反応の意味、量的な関係を理解する。	・ワークシートの記述内容の分析
		2節 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度の表し方について理解する。	4	・水もまた一部が電離しているということに興味をもつ。	・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・ある水素イオン濃度における水酸化物イオン濃度を求められる。	・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。		・ワークシートの記述内容の分析
		3節 中和反応と塩の生成 中和反応の定義と表し方について理解する。	4	・中和反応は本質的にはH ⁺ とOH ⁻ の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。	・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることに気づく。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。	・塩の水溶液をつくりpHメーターなどにより、pHを測定することができる。	・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類があることを理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		4節 中和滴定 塩の生成と種類、性質について理解する。	6	・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に興味を持つ。	・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・中和滴定の実験により濃度未知の酸や塩基の濃度を求めることができる。 ・実験器具の使い方を理解している。	・中和の量的関係を数値計算により求めることができる。 滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
11		1節 酸化と還元 酸化と還元を定義を理解する。	3	・酸化還元反応の原理、電池の種類や特徴について興味や関心を高める	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。 酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。		・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		2節 酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。	5	・酸化還元の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させられるようになる。	・酸化還元反応の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができる。酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		3節 金属の酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向について理解する。	4	・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。	・金属の種類によって反応性が大きく異なる事に気づく。	・金属の反応性を確かめる実験により、金属の性質をまとめることができる。	・金属のイオン化傾向、イオン化列について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		4節 酸化還元反応の応用 ・電池、電気分解の原理について理解する。	4	・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める	・電池や電気分解で起こる反応の原理や違いが生じる理由について考察し、他の場合と比較する。	・教科書などの図や表で該当の内容を確認する。	・電池の原理を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
12		1節 酸化と還元 酸化と還元を定義を理解する。	3	・酸化還元反応の原理、電池の種類や特徴について興味や関心を高める	・酸化還元反応には必ず電子の移動が伴うことに気づく。 酸化数を求めることによって酸化還元を考察することができるようになる。		・電子の授受が酸化還元の本質であることを理解している。	・ワークシートの記述内容の分析
		2節 酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤のはたらき方について理解する。	5	・酸化還元の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考えることによって完成させられるようになる。	・酸化還元反応の化学反応式を酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくられるようになる。酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを読み取ることができる。	・酸化還元滴定の実験により濃度未知の酸化剤や還元剤の濃度を求めることができる。酸化還元反応の進行を色の変化など、実験を通して視覚的に判断できるようになる。	・酸化還元反応の量的関係を数値計算により求めることができる。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
		3節 金属の酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向について理解する。	4	・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。	・金属の種類によって反応性が大きく異なる事に気づく。	・金属の反応性を確かめる実験により、金属の性質をまとめることができる。	・金属のイオン化傾向、イオン化列について理解している。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント
1	3章 酸化還元反応	4節 酸化還元反応の応用 ・電池、電気分解の原理について理解する。	4	・電池、電気分解の原理について興味や関心を高める	・電池や電気分解で起こる反応の原理や違いが生じる理由について考察し、他の場合と比較する。	・教科書などの図や表で該当の内容を確認する。	・電池の原理を理解する。 ・電気分解の原理を理解する。	・ワークシートの記述内容の分析 ・実験プリント

令和2年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
体育	普通科	1年生	2単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		ステップアップ高校スポーツ（大修館）	

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正・協力・責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動や継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方。課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

「体 育」 指導と評価の年間計画

Ⅲ 内進 科目一覧

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第1学年

実施月	領域記号	領域の時数	領域名 領域の内容 【学習指導要領の内容】	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他留意点等
					関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
1 3 月	A	7	<p>「A 体づくり運動」</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。</p> <p>イ 体力を高める運動では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るため、継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 体づくり運動に主体的に取り組むことや体力などの違いに配慮しようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>体力を高める運動</p> <p>縄跳び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技巧跳び ・時間跳び ・大縄跳び <p>サーキットトレーニング</p> <p>ウエイトトレーニング</p>	<p>体力づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、楽しさや心地よさを味わえるようお互いに協力して進んで運動しようとする。安全や健康に留意して運動をしようとする。</p>	<p>自分の体力や運動経験をふまえて、体力の高め方を工夫している。</p>		<p>体力づくり運動の意義や適切な行い方、心身への効果を理解するとともに、体力向上のための目的に応じた効果的運動の組み立て方を理解し知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・仲間との協力状態 ・チェックテスト ・個人カード内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ○授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操（補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること（原則） [冬季服装期間] 4～5月前期中間考査①前
5 7 9 月	B	8	<p>「B 器械運動」</p> <p>(1) 次の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技できるようにする。</p> <p>ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。</p> <p>エ 跳び箱運動では、切り直し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと。</p> <p>(2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>マット運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の技の練習 ・技と技をつなげる練習 ・演技発表の練習 <p>跳び箱運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の跳び方の練習 ・演技内容の充実を図る練習 	<p>器械体操の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるようお互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。マットや跳び箱に使用する器具を点検し、安全に留意して練習や発表をしようとする。</p>	<p>自分の能力に応じた技を練習するための課題を設定し、その解決のための練習の仕方や発表の仕方を工夫している。</p>	<p>マット運動や跳び箱運動の特性に応じた技術を身につけ、それを高め、技を組み合わせる演技ができる。</p>	<p>マット運動や跳び箱運動の特性や技術の構造を理解するとともに、技の補助の仕方、練習の計画方法、演技技巧性の仕方を理解し、知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・個人カードの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査 ①後～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所（原則） 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体育館女子更衣室
4 5 月	C	8	<p>「C 陸上競技」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>ア 競争 短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すこと。</p> <p>イ 跳躍・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶこと、走り高跳びでは、スピードのあるリズムカルな助走から力強く踏み切り、滑らかな空間動作で跳ぶこと、三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶこと。</p> <p>ウ 投てき・砲丸投げでは立ち投げなどから砲丸を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。</p> <p>(2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>競走</p> <p>長距離走</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペース走 ・インターバルトレーニング <p>ハードル走</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードリング練習 ・3歩のリズム練習 ・50mハードルタイムトライアル 	<p>陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるようお互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い使用する器具を点検し、安全に留意して練習や発表をしようとする。</p>	<p>自分の能力に応じて目標記録を設定し、その記録更新のための練習方法を工夫している。</p>	<p>長距離走やハードル走の運動の特性に応じた技術や練習の仕方、ルールや記録会の運営の仕方についての知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人カードの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ○10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査 ①後～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所（原則） 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体育館女子更衣室 	
無し	D		<p>「D 水泳」</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。</p> <p>ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。</p> <p>(2) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようということなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>							
5 6 10. 11. 12. 1 2 3	E	28	<p>「E 球技」</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めゲームが展開できるようにする。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間(スペース)を埋めるなどの連携した動きによって空間(スペース)への侵入などから攻防を展開する。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間(スペース)を作り出すなどの攻防を展開する。</p> <p>ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。</p> <p>(2) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>(3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>ゴール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サッカー ・基本的技能 キック バス トラップ トリプル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム <p>○バスケットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 パス バス トリプル シュート ・オフェンス 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム <p>ネット型</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バレーボール ・基本的技能 パス (個人・対人) 練習 サーブ練習 レシーブ練習 セッター練習 ・簡易ゲーム <p>○テニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ボール握れ 基本ドリフ フォアハンド バックハンド ボレー サーブ ・簡易ゲーム <p>○バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能 ストローク練習 オーバーヘッド サイドアーム アンダーハンド ・サーブ練習 ロングサービス ショートサービス ・簡易ゲーム <p>ベースボール型</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフトボール ・基本的技能 打撃 バットの握り方 構え方 振り方 フリー打撃 守備 ボールの握り方 投げ方 捕球姿勢 送球連取 ノック投球練習 ・簡易ゲーム 	<p>各球技の特性に関心をもち、戦術や作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。</p>	<p>自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。</p>	<p>自分やチームの能力や特性に応じて、各球技特性の練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人ノートやグループノートの内容 		

10 12月	F	12	<p>「F 武道」 (1) 次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防を展開できるようにする。 ア 柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり返したりするなどの攻防を展開する。 イ 剣道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開する。 (2) 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<p>柔道 ・礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習練習 ・連続技練習 ・試合形式練習</p> <p>剣道 ・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習</p>	<p>武道の特性に関心を持ち、礼儀を重んじる中にも楽しさや喜びを味わえるよう、お互い協力して進んで練習や試合に取り組みようとする。ルールに従い、公正な態度で、安全に留意して練習や試合をしようとする。</p>	<p>自分の能力と特性に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して練習の仕方や試合の仕方を工夫している。</p>	<p>武道の特性に応じた技術を身につけるとともに、その技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。</p>	<p>武道の特性や学び方、技術の系統性、効率的な練習の仕方を理解するとともに、ルールや試合、審判の仕方を理解し、知識を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・実技テスト ・ルールテスト(口答) ・個人ノートの内容
5 7・9月	G	8	<p>「G ダンス」 (1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や集団で対極の動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊る。 (2) ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとする。また、合意形成に貢献しようとする事や健康・安全を確保することができるようにする。 (3) ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスウォーミングアップ ・体の使い方・リズムの取り方 ・リズムダンス・ペアダンス ・現代的なリズムダンス ・即興表現 ・創作 	<p>ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表会に取り組みようとする。また、互いの良さを認め合おうとする。</p>	<p>自分の能力に応じた技を練習するための課題を設定し、その解決のための練習の仕方や発表の仕方を工夫している。</p>	<p>ダンスの特性に応じた技術を身につけ、それを高め、音楽に合わせてリズムミカルな動きを身につけて演技や表現ができる。</p>	<p>ダンスの特性やリズムの取り方、動き方を理解するとともに、作品の構成や効果的な表現の仕方について理解し、知識を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況 ・グループノートの内容
7・9月	H	6	<p>「H 体育理論」 (1) スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。 ア スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 イ スポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。 ウ 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあること。 また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせていることを理解する。 エ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。</p>	<p>クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習</p>	<p>スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性に関心を持ち、スポーツに関しての今後の課題やその解決策を自主的に考え、意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性について、学習した知識を活用して新たな課題を見つけることができる。</p>	/	<p>スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性について理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・定期考査試験

「体 育」 指導と評価の年間計画

(年間指導時数 1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第1学年

単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
			関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
体力づくり運動	縄跳びや各トレーニングを通して、健康の保持増進や体力向上を図り、目的に応じた運動計画を立てることが態度を養う。	体力を高める運動 縄跳び ・技巧跳び ・時間跳び ・大縄跳び サーキットトレーニング ウエイトトレーニング	体力づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、楽しさや心地よさを味わえるようお互いに協力して進んで運動しようとする。安全や健康に留意して運動をしようとする。	自分の体力や運動経験をふまえて、体力の高め方を工夫している。		体力づくり運動の意義や適切な行い方、心身への効果を理解するとともに、体力向上のための目的に応じた効果的運動の組み立て方を理解し知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 学習状況 ・仲間との協力状態 ・チェックテスト ・個人カードの内容	○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操（補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること （原則） [冬季服装期間]
陸上競技	長距離走・ハードル走を通して、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高める。ルールやマナーを大切に、役割を積極的に引き受け自己責任を果たそうとする態度を育成する。	競走 長距離走 ・ペース走 ・インターバルトレーニング ハードル走 ・ハードリング練習 ・3歩のリズム練習 ・50mハードルタイムトライアル	陸上競技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるようお互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い使用する器具を点検し、安全に留意して練習や発表をしようとする。	自分の能力に応じて目標記録を設定し、その記録更新のための練習方法を工夫している。	長距離走やハードル走の運動の特性に応じた技術を身につけ、記録会で力を発揮することができる。	陸上競技特性の技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールや記録会の運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人カードの内容	4～5月前期中間考査 ①前 10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査① 後～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所 （原則） 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体育館女子更衣室
器械体操	マット運動・跳び箱運動を通して、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、自信を持って演技発表を行う態度を養う。	マット運動 ・個々の技の練習 ・技と技をつなげる練習 ・演技発表の練習 跳び箱運動 ・個々の跳び方の練習 ・演技内容の充実を図る練習	器械体操の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるようお互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。マットや跳び箱に使用する器具を点検し、安全に留意して練習や発表をしようとする。	自分の能力に応じた技を練習するための課題を設定し、その解決のための練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	マット運動や跳び箱運動の特性に応じた技術を身につけ、それを高め、技を組み合わせる演技ができる。	マット運動や跳び箱運動の特性や技術の構造を理解するとともに、技の補助の仕方、練習の計画方法、鋭意技巧性の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習状況 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・個人カードの内容	
ダンス	仲間と踊ったりする楽しさや喜びを味わい、表現や踊りを通して、交流や発表ができるようになる。	創作ダンス ・ダンスウォーミングアップ ・体の使い方・リズムの取り方 ・リズムダンス・ペアダンス ・現代的なリズムダンス ・即興表現 ・創作	ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表会に取り組もうとする。また、互いの良さを認め合おうとする。	自分の能力に応じた技を練習するための課題を設定し、その解決のために練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	ダンスの特性に応じた技術を身につけ、それを高め、音楽に合わせてリズムカルな動きを身につけ演技や表現ができる。	ダンスの特性やリズムの取り方、動き方を理解するとともに、作品の構成や効果的な表現の仕方について理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度と学習態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況 ・グループノートの内容	
柔道	柔道を通して、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開できるように。相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動を大切にすることを養う。	柔道 ・礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習練習 ・連続技練習 ・試合形式練習	柔道の特性に関心を持ち、礼儀を重んじる中にも楽しさや喜びを味わえるよう、お互い協力して進んで練習や試合に取り組もうとする。ルールに従い、公正な態度で、安全に留意して練習や試合をしようとする。	自分の能力と特性に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して練習の仕方や試合の仕方を工夫している。	柔道の特性に応じた技を身につけるとともに、その技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。	柔道の特性や学び方、技術の系統性、効率的な練習の仕方を理解するとともに、ルールや試合、審判の仕方を理解し、知識を身につける。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人ノートの内容	

剣道	剣道を通して、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開できるようになる。相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動を大切にすることを養う。	剣道 ・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習	剣道の特性に関心を持ち、礼儀を重んじる中にも楽しさや喜びを味わえるよう、お互い協力して進んで練習や試合に取り組もうとする。ルールに従い、公正な態度で、安全に留意して練習や試合をしよとする。	自分の能力と特性に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して練習の仕方や試合の仕方を工夫している。	剣道の特性に応じた技能を身につけるとともに、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。	剣道の特性や学び方、技術の系統性、効率的な練習の仕方を理解するとともに、ルールや試合、審判の仕方を理解し、知識を身につける。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人ノートの内容 ・グループノートの内容
サッカー	サッカーを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を育成する	ゴール型 ・基本的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム	サッカーの特性に関心を持ち、作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。フェアなプレーに心がけ、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しよとする。	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分やチームの能力や特性に応じて、サッカーの技能を身につけ、ゲームをすることができる。	サッカーの特性である集団技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・グループノートの内容
バスケットボール	バスケットボールを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度	ゴール型 ・基本的技能 パス ドリブル シュート ・オフェンス 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム	バスケットボールの特性に関心を持ち、作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。フェアなプレーに心がけ、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しよとする。	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分やチームの能力や特性に応じて、バスケットボールの技能を身につけ、ゲームをすることができる。また、ディフェンスやオフェンスなどの集団技能を高め、新たに身につけた技能でゲームを展開することができる。	バスケットボールの特性である集団技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バレーボール	バレーボールを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を	ゴール型 ・基本的技能 パス（個人・対人）練習 サーブ練習 レシーブ練習・セッター練習 ・簡易ゲーム	バレーボールの特性に関心を持ち、戦術や作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しよとする。	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を節制し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分やチームの能力や特性に応じて、バレーボールの技能を身につけ、ゲームをすることができる。	バレーボールの特性である集団技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・グループノートの内容
テニス	テニスを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切にし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を育成する	ネット型 ・基本的技能 ボール慣れ 基本グリップ フォアハンド バックハンド ボレー サーブ ・簡易ゲーム	テニスの特性に関心を持ち、戦術や作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しよとする。	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分の能力や特性に応じて、テニスの技能を身につけ、ゲームをすることができる。	テニスの特性である個人技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人カードの内容

バドミントン	バドミントンを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切に、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を	ネット型 ・基本的技能 ストローク練習 オーバーヘッド サイドアーム アンダーハンド ・サービス練習 ロングサービス ショートサービス ・簡易ゲーム	バドミンントンの特性に関心を持ち、戦術や作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分やチームの能力や特性に応じて、バドミンントンの技能を身につけることができる。	バドミンントンの特性である個人技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・個人カードの内容
ソフトボール	ソフトボールを通して、勝敗を争う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。フェアなプレイを大切に、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとする態度を	ベースボール型 ・基本的技能 打撃 バットの握り方 構え方 素振り フリー打撃 守備 ボールの握り方 投げ方 捕球姿勢 送球連取 ノック 投球練習 ・簡易ゲーム	ソフトボールの特性に関心を持ち、戦術や作戦を立てて勝敗を競う楽しさや喜びを味わえるように、お互いに協力して進んで練習に取り込もうとする。ルールに従い、練習やゲーム中の安全管理や危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意	自分やチームの能力や特徴に応じた課題を設定し、その課題を解決するために適切な練習の方法を選んだり、見つけたりしようとする。また、相手と競うことから作戦を立てたり、ゲームの方法や新しい課題を見つけようとする。	自分やチームの能力や特性に応じて、ソフトボールの技能を身につけることができる。	ソフトボールの特性である集団技術や技能を高めるための練習の仕方、ルールやゲームの運営の仕方についての知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答） ・グループノートの内容
体育理論	スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解する。	クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習	スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性に関心を持ち、スポーツに関しての今後課題やその解決策を自主的に考え、意欲的に取り組んでいる。	スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性について、学習した知識を活用して新たな課題を見つけることができる。	/	スポーツの歴史や文化的特性や現代スポーツの特性について理解している。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・スポーツに関する理解度テスト

令和2年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覽

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
保健	普通科	1年生	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		現代保健ノート（大修館）	

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
-------	---

評価の観点および評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	現代社会と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。

「保 健」 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年

高志高等学校 普通科 第1学年

実施月	単元の時数	単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準			評価方法	その他留意点等	
					関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解			
4・5	6	「(1) 現代社会と健康」	我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。	ア 健康の考え方 健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。	1. 私たちの健康のすがた 2. 健康のとらえ方 3. 健康と意思決定・行動選択 4. 健康に関する環境づくり データをもとに、世界の平均寿命や健康観の変遷に触れながら、健康について広くとらえさせる。世界や我が国での取り組みや、人間を取り巻く環境すべてが健康にかかわることを理解する。健康にとって望ましくない習慣をやめる、将来的にしない、望ましくない周囲の圧力をはね返す、などの状況を設定し、プレインストーミングやロールプレイなどの方法を使って、意思決定・行動選択を行う。	・国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・健康に関する意思決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・国民の健康水準と疾病構造の変化、健康の考え方と成り立ちについて、資料等で調べたことを基に、課題を見つめたり、整理したりするなどしてそれらを説明している。 ・健康に関する意思決定や行動選択、健康に関する環境づくりについて、学習したことを、個人及び社会生活や事例などを比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・健康の考え方は、国民の健康水準や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることに、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
6・7・9	10		イ 健康の保持増進と疾病の予防 健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があること。喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。	5. 生活習慣病とその予防 6. 食事と健康 7. 運動と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康 生活習慣病とその予防について理解し、健康的な生活習慣の形成について理解する。また、薬物乱用の防止について、社会的な取り組みと個人が行う対策について理解する。それらをもとに自分の生活の中でどのように実践できるか、意見の交換をしあう。	・生活習慣病と日常の生活行動について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・生活習慣病と日常の生活行動について、資料等で調べたことを基に、課題を見つめたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ・喫煙、飲酒と健康、薬物乱用と健康について、学習したことを、個人及び社会生活や事例とを比較したり、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することから行ってはならないこと、喫煙と飲酒、薬物乱用の対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
10・11・12	9		イ 健康の保持増進と疾病の予防 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人的及び社会的な対策を適切に行う必要があること。 ウ 精神の健康 人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること。精神と身体には、密接な関連があること。また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。	12. 現代の感染症 13. 感染症の予防 14. 性感染症・エイズとその予防 15. 欲求と適応機制 16. 心身の相関とストレス 17. ストレスへの対処 18. 心の健康と自己実現 感染症予防について、社会的な取り組みと個人が行う対策について理解する。様々な欲求について自分の体験と照らし合わせながら理解させる。心身相関の仕組みやストレスの対処法について理解し、実践につなげられるようにする。また、自己実現と心の健康の関係、自己実現の道筋と達成について理解し説明できるようにする。	・感染症とその予防について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・欲求と適応機制、心身の相関について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・ストレスへの対処、自己実現について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換、体験活動に意欲的に取り組もうとしている。	・感染症とその予防について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したり、評価したりするなどしている。 ・欲求と適応機制、心身の相関について、資料等で調べたことを基に整理したり、自分の考えを導き出したりして、それらを説明している。 ・ストレスへの対処、自己実現について、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したり、評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、感染症の予防には、個人的及び社会的な対策を行う必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。 ・人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること、精神と身体には、密接な関連があること、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
1・2	4		エ 交通安全 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重態度、交通環境の整備などがかわること。また、交通事故には責任や補償問題が生じること。	19. 交通安全の現状と要因 20. 交通社会における運転者の脂質と責任 21. 安全な交通社会づくり 交通事故に関するVTRを視聴するなどして、交通安全の意識を高め、自他の生命を守り尊重する態度を養う。また、交通事故における責任や補償について理解し、交通安全の意識を高める。	・交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・交通事故の現状、交通社会に必要な資質と責任について、資料等で調べたことを基に、課題を見つめたり整理したりするなどして、それらを説明している。 ・安全な社会づくりについて、学習したことを個人及び社会生活や事例と比較したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などが関わることに責任や補償問題が生じることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
2・3	6	オ 応急手当 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。また、心肺蘇生等の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。	22. 応急手当の意義とその基本 23. 心肺蘇生法 24. 日常的な応急手当 身近な応急手当を始め、緊急を要する際の応急手当や心肺蘇生について、実習を交えて理解し実践できる力を養う。	・応急手当の意義について、資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・日常的な応急手当、心肺蘇生法について、実習や、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・応急手当の意義について、資料等で調べたことを基に、課題を見つめたり、整理したりするなどして、それらを説明している。 ・日常的な応急手当、心肺蘇生法について、分析したり評価したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、心肺蘇生等の応急手当は障害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。		

令和2年度 芸術（音楽）科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覧

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
音楽 I	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
高校音楽 I 改訂版 Music View		使用していない	

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
評価の観点および評価規準			
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの様子を観察する。 ・ワークシートに記入した内容で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの様子を観察する。 ・ワークシートに記入した内容で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏に対する取り組みの様子を観察する。 ・演奏の聴取（練習、発表、実技試験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚、感受したことを言葉で批評する内容を確認する。 ・ワークシートに記入した内容で確認する。

令和2年度 芸術（音楽）科 指導と評価の年間計画

内進 科目一覧

福井県立高志高等学校 普通科 1年

実施月	題材の 時数	題材名 教材名 ○歌唱 △器楽 □創作 ◆鑑賞	題材の目標	主な指導内容	学習指導要領				題材の評価規準 と 評価方法				
					表現			鑑賞	音楽を形づくっている要素	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
					歌唱	器楽	創作						
4	4	オリエンテーション ー高校の音楽授業を 楽しく学ぶためにー ○校歌 ○花鳥風月 ○風が吹いている	親しみやすいJ-POPの歌を二 部合唱で合わせる楽しみを味 わいながら歌うことで、高校 音楽に興味・関心をもち、意 欲を養う。	・高校音楽の1年間の授業方 針、学習内容、学習方法を理 解する。 ・音楽に関するアンケートの 実施（既習内容や音楽経験の 把握、高校音楽への意欲） ・二部合唱の楽しみを味わ う。	ア ウ エ				旋律 テクスチャ 強弱	①意欲的に高校音楽に臨 もうとしている。 ②二部合唱のよさに関心 をもち、それらを生かし て歌う学習に主体的に取 り組もうとしている。 【観察・ワークシート】	①旋律、テクスチャ、 強弱を知覚し、それらの 働きが生み出す特質や雰 囲気を感じながら、二 部合唱による歌唱の特 徴を生かした音楽表現を 工夫し、どのように歌う かについて思いや意図を もっている。【観察・ ワークシート】	①二部合唱の特徴を生か した音楽表現をするため に必要な技能を身につけ ている。【観察・演奏聴 取】	
4 ・ 5	4	豊かな歌声をめざして ーア・カペラに挑戦ー ○見上げてごらん夜の星 を	ア・カペラの合唱で声を響か せ、協力し合いながらアン サンブル活動を楽しむ。	・豊かな歌声のためのエク ササイズに取り組む。 ・豊かな響きのある歌声の基 礎となる技能を身につける。	ウ エ				音色 テクスチャ 強弱	①基礎となる技能を身に つけることや協力し合い ながらアンサンブル活 動をするに関心をもち、 ア・カペラの合唱に主 体的に取り組もうとし ている。【観察・ワーク シート】	①音色、テクスチャ、 強弱を知覚し、それらの 働きが生み出す特質や雰 囲気などを感じながら、 ア・カペラによる歌 唱の特徴を生かした音 楽表現を工夫し、どの ように歌うか表現意図 をもっている。【観察・ ワークシート】	①ア・カペラによる歌 唱の特徴を生かした音 楽表現をするために必 要な呼吸法、発声など の技能を身につけ、 創造的に表している。 【観察・演奏聴取】	
5	4	合唱の楽しみ ○各クラス選曲	混声三部合唱を通して、合 わせる楽しみを味わいなが ら、校内合唱コンクールへ とつなげる。	・発声の改善（発声、発語、 姿勢や身体の使い方、呼 吸法、共鳴の様子）に努 める。 ・歌詞の内容、歌詞が表す 情景や心情を感じ取り、 イメージをもって、強弱 や旋律の特徴を生かし て歌う。 ・美しいハーモニーのた めに各声部のバランスに ついて考える。	ア ウ エ				旋律 テクスチャ 強弱	①曲想と歌詞の内容とのか かわり、混声三部合唱 に関心をもち、それら を生かして歌う学習に 主体的に取り組もうと している。【観察・ワー クシート】	①旋律、テクスチャ、 強弱を知覚し、それら の働きが生み出す特質 や雰囲気を感じながら、 曲想を歌詞の内容とわか わらせて感じ取り、三 部合唱の特徴を生かし た音楽表現を工夫し、 どのように歌うかにつ いて思いや意図をもっ ている。【観察・ワー クシート】	①曲想を歌詞の内容と かわらせて感じ取り、 イメージをもって混声 三部合唱の特徴を生か した音楽表現をするた めに必要な発声、姿 勢や身体の使い方、読 譜の仕方などを身に つけ、創造的に表して いる。【観察・演奏聴 取】	
6	6	音楽の要素と働き1 ー音階と旋法の働きが 生み出す魅力ー □メリーさんのひつじ □きらきら星変奏曲	音楽を形づくっている要素に 気づき、それらの働きを変 化させて、イメージをもっ て変奏や編曲をつくる。	・変奏曲をつくる。 ・音楽を形づくっている 要素やしくみを知って、 それらの働きを知覚し ながら、どのように変 奏や編曲をするか思い や意図をもち、音楽表 現を工夫する。				ア ウ エ	音色 リズム 速度 旋律 構成	①音階や旋法、音色、リ ズム、速度、旋律、構 成の働きの変化に関心 をもち、イメージをも って変奏や編曲をする 学習に主体的に取 り組もうとしている。 【観察・ワークシート】	①楽曲の音階や旋法、 音色、リズム、速度、 旋律、構成を知覚し、 それらの働きが生み出 す特質や雰囲気など を感じ取り、表現し たい音楽をイメージ して音楽表現を工夫 し、どのように変奏 や編曲をするか表現 意図をもっている。 【観察・ワークシート ・ワークシート】	①音階や旋法、音色、 リズム、速度、旋律、 構成の働きを変化さ せて変奏や編曲を するために必要な音 の組み合わせ方や記 譜の仕方を身につ け、創造的に表して いる。【観察・演奏 聴取】	
6 ・ 7	4	言葉と音楽1 -日本語の歌と英語の歌- ○この道 ○故郷 ○Smile ○Yesterday ◆赤とんぼ	曲想と歌詞の内容や楽曲の背 景との関わり、言葉の特性 とのかかわりを感じ取り ながら、イメージをもっ て表情豊かに歌ったり、 鑑賞したりする。	・曲想や歌詞の言葉の意 味や語感、歌詞が表す 心情、楽曲がつくら れた背景や歌い継い できた人々の思いなど とかわらせて感じ取る。 ・日本語や英語の言 語の特性とのかかわ りを理解し、表現を 工夫する。	ア イ エ			イ ウ	リズム 速度 旋律 強弱	①曲想と歌詞の内容や 楽曲の背景とのかか わり、曲種に応じた 発声の特徴に関心 をもち、歌う学習 に主体的に取り組 もうとしている。② 楽曲の文化的・歴 史的背景や作曲家 及び演奏者による 表現の特徴に関心 をもち、鑑賞の 学習に主体的に 取り組もうとし ている。【観察・ ワークシート】	①リズム、速度、 旋律、強弱を知覚 し、それらの働 きが生み出す特 質や雰囲気など を感じながら、 曲種に応じた 発声の特徴を生 かした音楽表 現をするため に必要な歌唱 の技能を身に つけ、創造 的に表して いる。【発 表・演奏聴取】	①リズム、速度、 旋律、強弱を知 覚し、それらの 働きが生み出 す特質や雰 囲気を感じ ながら、楽曲 の文化的・ 歴史的背 景や作曲 者及び演奏 者による表 現の特徴 を理解し、 楽曲や演奏 を解釈し、 それらの 価値を考 えたりして、 音楽に対 する理解 を深め、 よさや美 しさを 創造的に 味わって 聴いて いる。【 観察・ ワーク シート・ 発表】	

7	4	<p>言葉と音楽2 -イタリア語とドイツ語 の 歌曲に挑戦-</p> <p>○Caro mio ben ○野ばら (シュベ`ルト) ○野ばら (ヴェルナー) ◆歌曲『ます』</p>	<p>曲想と歌詞の内容や楽曲の背景との関わり、言葉の特性とのかかわりを感じ取りながら、イメージをもって表情豊かに歌ったり、鑑賞したりする。</p>	<p>・イタリア語やドイツ語の言葉の特性とのかかわりや旋律、伴奏の特徴とのかかわりなどを理解し、表現を工夫する。 ・イメージをもって、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして鑑賞し、音楽に対する理解を深める。</p>	アイエ		イウ	リズム 速度 旋律 強弱	<p>①曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、曲種に応じた発声の特徴に関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。②楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。【ワークシート・観察】</p>	<p>①リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、発声の特徴を生かしたりして、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、イメージをもって音楽表現をしたり、曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。【発表・演奏聴取】</p>	<p>①リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・ワークシート・発表】</p>
9	2	<p>音楽の要素と働き3 -テクスチャが織りなす 音の文様-</p> <p>◆『風の騎士』 ◆ボレロ ○ケチャ △フィオラスウの舞踊曲</p>	<p>鑑賞や表現活動を通して、テクスチャの働きがもたらす音楽の変化を知覚・感受する。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素とそれらの働きを知覚感受しながら、文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞したり歌ったり演奏したりする。</p>	アイエ	アイエ	アイウ	音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱	<p>①楽曲におけるテクスチャの働きが生み出す特質や雰囲気、楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。②キーボードや打楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、イメージをもって演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①楽曲の音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。【観察・ワークシート・演奏聴取】</p>	<p>①楽曲におけるテクスチャの働きが生み出す特質や雰囲気、楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを知覚・感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・ワークシート】</p>
9	4	<p>物語と音楽のかかわり -映像における 音楽の効果-</p> <p>◆ウエスト・サイド物語 ○Tonight □ゴジラ ◆サント・オプ・ミュージック ○My favorite things</p>	<p>・映像作品における音楽の効果を感じ取るとともに、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。 ・舞台芸術や映画音楽の特徴を理解し、それらの文化的・歴史的背景に興味をもち、音楽の効果について感じ取る。</p>	<p>・曲想と歌詞の内容、あらすじや物語の背景、登場人物の心情などとかかわらせて感じ取る。 ・ミュージカル映画や映画音楽を鑑賞し、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり、楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解する。 ・映画音楽を鑑賞し、音楽の特徴や映像と組み合わせられたときの効果を感じ取って、そのよさや価値について考えたり、自分たちのイメージに合うように、音色や強弱、速度を変えたりしながら、オリジナルサウンドをつくる。</p>	アエ		ウエ	アイウ 音色 リズム 速度 旋律 強弱 構成	<p>①曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>②声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりや楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート】</p> <p>②音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、さまざまな表現形態による器楽の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。【ワークシート・観察・発表】</p>	<p>①音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ったり、楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解したりして、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【演奏・ワークシート】</p>
10 ・ 11	10	<p>弦楽器の魅力 -ギターに挑戦-</p> <p>○夢の中へ △夢の中へ △カノンによるギター・エチュード △ソナタK.331によるギター三重奏 △桜坂 ◆『冬』から</p>	<p>ギターの音色や奏法の特徴を生かして、表現を工夫して演奏する。</p>	<p>・ギター独奏やアンサンブル、弾き語りのよさや持ち味を感じ取って演奏する。 ・めざす音楽表現に必要な技能を身につける。</p>	アエ	イウエ	アイ	音色 旋律 テクスチャ 形式	<p>①ギターの音色や奏法の特徴、様々な表現形態による器楽の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p> <p>②ギターの音色の特徴と表現上の効果とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、ギターの音色や奏法の特徴や様々な表現形態による特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート】</p>	<p>①ギターの音色や奏法の特徴や様々な表現形態による特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート・演奏聴取・演奏発表】</p>	<p>①音色、旋律、テクスチャ、形式を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、ギターの音色と表現上の効果とのかかわりを感じ取って、楽曲や演奏を解釈したりそれらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを味わって聴いている。【観察・ワークシート】</p>

11 ・ 12	8	音楽の流れ1 －和楽器－	和楽器の音色や奏法の特徴を生かして演奏したり、楽曲の特徴と文化的・歴史的背景を理解して鑑賞したりする。	・和楽器の基本的な奏法を身につける。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、演奏する。	アイエ	アイエ	音色 リズム 旋律	①箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ②箏の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり、郷土の伝統音楽の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①箏の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受している。【観察・ワークシート】 ②知覚・感受しながら、箏の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。【ワークシート・観察】	①箏の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現を工夫するために必要な技能を身につけ、創造的に表している。【観察・ワークシート・演奏聴取】	①音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、箏の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ったり、郷土の伝統音楽の特徴を理解したりして、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・ワークシート】
		◆箏曲『千鳥の曲』 △さくらさくら △涙そうそう △アイズ・ニート・レー									
1	5	音楽の要素と働き3 －音素材を選んで音楽をつくろう－	形式や構成を考えながら、音素材を選んで、グループで音楽をつくる。	・何を表現したいかをイメージする。 ・音楽の諸要素を操作しながら、イメージに近づける。 ・反復、変化、対照などを工夫したり、全体の構成を考えたりして、音楽をつくる。	イエ		音色 リズム 速度 テクスチャ 強弱 形式 構成	①音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①音色、リズムなどの要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音素材の特徴を生かして、反復、変化、対照などの構成を考え、表現したい音楽をイメージして音楽表現を工夫し、どのように音楽をつくるか表現意図をもっている。【ワークシート・観察】	①音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な音の組み合わせ方や記譜の仕方を身につけ、創造的に表している。【観察・ワークシート・発表】	
		○学年選曲									
2	4	声と声を合わせて －混声四部合唱－	合唱活動を通して、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、声部の役割を理解し、表現意図をもって歌う。	・曲想を歌詞の内容や歌詞が表す心情、楽曲がつくられた背景などとかかわらせて感じ取る。 ・声部のバランスを考え、イメージをもって、音楽表現を工夫して歌う。	アウエ		音色 リズム 速度 旋律 強弱	①声を合わせる活動に関心をもち、それらの演奏効果を生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲想を歌詞の内容とのかかわらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように声を合わせるか表現意図をもっている。【観察・ワークシート】	①曲想を歌詞の内容とのかかわらせて感じ取り、イメージをもって声を合わせる活動による音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。【観察・ワークシート・発表】	
		○学年選曲									
2 ・ 3	5	音楽の流れ2 －諸民族の声の音楽と日本の声の音楽－	諸民族の声の音楽と日本の声の音楽を比較し、音楽文化の共通点や相違点を理解する。	・諸民族の音楽における様々な声の音楽から、音楽の多様性を捉えるとともに、諸民族の声の音楽と日本民謡を中心とした民族芸能を比較する。	アイエ	アイウエ	音色 旋律	①中国民謡や朝鮮半島民謡の発声の特徴、曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち、それらを生かして歌ったり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①中国民謡や朝鮮半島民謡の声の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景、日本の声の音楽との共通点、相違点とかかわらせて感じ取り、音楽表現を工夫し、どのように歌うか表現意図をもっている。【観察・ワークシート】	①中国民謡や朝鮮半島民謡の発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な発声の技能を身につけ、創造的に表している。【ワークシート・演奏聴取】	①民族、地域に応じた声や楽器の音色、旋律などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、それらと表現上の効果とのかかわりを感じ取って、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・ワークシート】
		○茉莉花 ○アリラン ◆世界の音楽めぐり ◆日本の民謡と芸能									
3	6	音楽の流れ3 －ポピュラー音楽のルーツ－	ポピュラー音楽の成り立ちをたどりながら、曲想を楽曲が生まれた背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌ったり、楽曲や演奏を解釈したりする。	・19世紀後半以降に、アメリカで生まれた様々なジャンルのポピュラー音楽は、北アメリカの音楽が根拠になっていることを知る。 ・音楽が生まれ、はぐくまれてきた地域、風土、人々の生活、文化、伝統などの歴史的背景を知り、曲想とかかわらせて感じ取る。 ・ジャンル固有のリズムやコード進行、音階などについて、それぞれの音楽に合わせてリズム打ちするなどの体験を通して理解する。	アイエ	アイウエ	リズム 旋律 テクスチャ	①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりや、曲種に応じた発声の特徴に関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 ②声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。【観察・ワークシート】	①リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取ったり、曲種に応じた発声の特徴を生かして音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観察・ワークシート】	①曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって曲種に応じた発声の特徴を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。【ワークシート・演奏聴取・演奏発表】	①リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取ったり、楽曲の文化的・歴史的背景を理解したりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。【観察・ワークシート】
		○誰も知らない私の悩み ○Amazing grace ○Oh happy day ◆ジャズ・ロック									

令和2年度 芸術（美術）科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覧

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
美術 I	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
高校美術 I（日本文教出版株式会社・高校美術 1）		なし	

科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。		
評価の観点および評価規準			
美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法（統合的な評価を含む）			
【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子	【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品	【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品	【鑑】 ・ワークシート ・発言内容

「美術Ⅰ」指導と評価の年間計画

学校名 高志高等学校

実施月	題材の時数	対応する学習指導要領の内容と指導事項			題材名	題材の目標	評価規準				評価方法 (統合的な評価を含む)
		A表現					美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
		(1) 絵画 彫刻	(2) デザイン	(3) 映像 メディア 表現							
4 5 6	15		○		困りごとをデザインで解消～特許出願で社会に提案する(デザイン)	生活で不便に感じることを意識化し、デザインで解決しようとする意識を持つとともに、特許応募を通して社会と関わる。	<p>【表】日常の中で不便に感じていることを意識化し、生活を豊かにする商品の構想を練ったり、目的を基に表現したりしようとしている。</p> <p>【鑑】生活を豊かにするデザインの働きを感じ取り、工夫を読み取ろうとしている。</p> <p>①使い手の気持ちを考えて生活を豊かにする商品アイデアを考え、試作しながら創造的に表現しようとしている。</p> <p>②作り手の意図や工夫を読み取り、デザインの働きについて自分の考えをもとうとしている。</p>	<p>生活の課題から主題を生成し、素材の特性や形や機能などを考え、構想を練っている。</p> <p>①生活の不便なところを意識化して発想し、解消するためのデザインを検討している。</p> <p>②素材の特性や機能性などについて、試しながら構想を練っている。</p>	<p>素材を効果的に扱った形や構造等を創意工夫し、見通しをもって表現している。</p> <p>①試作を通して素材や構造を工夫している。</p> <p>②表したいイメージをもとに、造形の順序などを考えて制作している。</p>	<p>日本の伝統文化や現代の商品、生徒の作品などから意図と表現の工夫、素材の生かし方などを感じ取り、生活を豊かにするデザインの働きについて理解している。</p> <p>①つくり手の表現の工夫を読み取っている。</p> <p>②文化に着目しつつ、デザインの働きについて理解している。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を述べ合う様子の観察 ワークシート 制作の様子 グループ活動の様子 <p>【発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイディアスケッチや試行作品 完成作品 <p>【創】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作途中の作品や試行作品 完成作品 <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発言内容
6 7	12	○		○	立体表現の工夫を感じ取ろう～塊から手を彫り出す(彫刻)	塊から手を彫り出す制作を通して、量感や動勢、空間などの立体の造形要素を理解し、立体の表現と鑑賞の力を養う。	<p>【表】身体の動きや心情を想像した手の形態から主題生成し、カービングの方法で表現を追求している。</p> <p>【鑑】立体の造形要素と表現の関連を読み取り、味わっている。</p> <p>①手の持つ感情を基に主題を生じ、用具を工夫して扱い表現しようとしている。</p> <p>②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方を持とうとしている。</p>	<p>手の形態や表情から主題を生成し、表現の構想を練っている。</p> <p>①手から自らが感じ取ったことや考えたことから主題を生成している。</p> <p>②主題を効果的に表現するために、形体、面、量感、均衡、動勢などの立体の造形要素を理解し構想を練っている。</p>	<p>彫刻の材料の特性や用具の使い方などを理解し、効果的に表現に生かしている。</p> <p>①技法や材料、用具の特性を理解して表現している。</p> <p>②表現したい意図を大切に、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を追及して表している。</p>	<p>日本の仏像や西洋の石彫、生徒の作品などから意図と表現の工夫、さまざまな材料のよさと表現の特徴を感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどをもち、理解している。</p> <p>①つくり手の伝えたい内容を立体の表現の工夫から感じ取っている。</p> <p>②彫刻の表現の工夫などを感じ取り、自分の感じ方や考え方を述べることができる。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を述べ合う様子の観察 ワークシート 制作の様子 グループ活動の様子 <p>【発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート アイディアスケッチや試行作品 完成作品 <p>【創】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作途中の作品や試行作品 完成作品 <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発言内容
9	7			○	東洋と西洋の美術(鑑賞)	日本及び諸外国の美術文化の理解を深め関心を高める。	<p>日本画と油彩画の表現の特徴を画材、モチーフ、技法から比較し、背景にある歴史と表現の特質に関心をもち、進んで調べたり作品のよさや美しさを感じ取ろうとしている。</p>			<p>日本と西洋の美術の視点や思想などと表現の関連を考え、自分の価値意識を築いて深く読み解いている。</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を述べ合う様子の観察 ワークシート グループ活動の様子 <p>【鑑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート 発言内容

10 11	16	アイ ウ エ	ア ウ	○	○	自分の感性を探ろう～時間と空間を襖絵で演出(絵画)	襖絵から日本文化の特徴に関心を持ち、表現の中で自分の感性を探る。実感したことから文化の継承と課題、創造について自分の意見を持つ。	【表】日本画材の表現の特徴に関心を持ち、主体的に主題を生成し表現を通して、日本文化の特徴や自分の感性を感じ取ろうとしている。 【鑑】日本画材の特徴と表現の工夫、よさを感じ取ろうとしている。自分の考えをもととしている。 ①日本の絵の特徴を理解し、自分の時空間の構想を練ろうとしている。 ②作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の感じ方や考え方をとらえている。	「時空間を演出」のテーマを基に、日本文化の特徴で感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、形体、色彩、構成などの造形要素表現の関連を考えながら構想を練っている。 ①「時空間の演出」のテーマを基に、自分の感性を探りながら主題を生成している。 ②主題を効果的に表現するために形体、色彩、構成などを工夫して構想を練っている。	日本画材の特性と表現効果を生かし、意図に応じて創造的に表現している。 ①表現効果を試行錯誤しながら、主題を追及している。 ②日本画材の技法や材料、用具の特性を理解し、創造的に表現している。	日本美術の表現の特徴の理解を深め、文化と自分の感性のつながりを感じ取り、深く味わっている。日本文化の継承と課題、創造について自分の考えを持っている。 ①日本美術のよさや工夫を読み取り関心を深めている。 ②日本文化の継承の課題と創造について情報収集したり話し合ったりして、自分の意見を述べるができる。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容
12 1	14	アイ ウ エ	ア ウ	○	○	〇〇作家のオマージュ(絵画)	西洋絵画(油彩)で興味ある作品を選択して、その色彩や構図、主題、時代背景などから鑑賞を深め、自分の主題生成と表現に生かす。	【表】西洋絵画の主題、形や色の造形要素と表現の工夫の関連などに関心を持ち、自分の表現に生かそうとしている。 【鑑】主題、造形要素を基に西洋絵画の特徴を読み取ろうとしている。 ①日本画との比較から造形要素について理解を深めている。 ③作者の意図や表現の工夫を読み取り、自分の表現に生かそうとしている。	気になる作品を分析し、形体、色彩、構成などの造形要素から自分の主題生成に生かせるよう、創造的な表現の構想を練っている。 ①気になる作品の魅力や主題や造形要素の工夫などから分析し、自分の主題生成に生かしている。 ②画材の特徴を生かした色と形の表現の構想を練っている。	画材の特性と表現効果を生かして、意図に応じて創造的に表現を追求している。 ①画材の技法や材料、用具の特性を理解し、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫している。 ②表現したい意図を大切に、造形要素との関連から効果を考えるなどして工夫している。	作家の作品、生徒の作品などから意図と表現の工夫を感じ取り、自分の価値意識を築いている。 ①作者の意図を表現の工夫から感じ取っている。 ②友達の作品の表現の工夫などを感じ取り、自分の感じ方や考え方を述べるができる。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容
2 3	6	アイ ウ エ	ア ウ	○	○	動画が与える印象～5秒で伝える映像表現(映像メディア表現)	動画の多様な表現とねらい、受け手側が持つ印象などに関心を持ち、映像メディアの社会への影響力や責任、今後の展開に関心を持つ。グループ活動ならではの表現に取り組む。	【表】形と色を動かす効果を理解し、伝えたいことを効果的に表現しようとしている。 【鑑】作者の意図と表現の工夫、コマ撮りの表現の特質などを理解し、作品に対する見方や感じ方、考えなどを深めている。 ①伝達内容にあった表現の構想を練り、機器の特性を生かして表そうとしている。 ②映像メディア表現の特質や多様な表現効果に関心を持ち、作品の意図や工夫についてグループで意見を深めている。	コマ撮りの原理を理解し、主題に応じた表現の構想を練っている。 ①コマ撮りの基本的な原理を理解し、主題を生成している。 ②創造的な表し方や手順について構想を練っている。	機材の特質や使用効果・伝達効果を自己の表現意図に合わせて効果的に表現している。 ①機材の基本操作を理解し、表現や手順を工夫している。 ②機材の機能を生かし、表現意図に沿って色や形や動きの変化を効果的につけ、創造的に表している。	映像メディア表現による発信・交流などを通して、他者の表現の意図とその工夫、社会における影響等を読み取ろうとしている。 ①「動き」の面白さや美しさを感じ取り、そのよさを味わっている。 ②作品の表現の工夫や効果などを読み取り、自分の価値意識を持って意見交換ができる。	【関】 ・意見を述べ合う様子の観察 ・ワークシート ・制作の様子 ・グループ活動の様子 【発】 ・ワークシート ・アイディアスケッチや試行作品 ・完成作品 【創】 ・制作途中の作品や試行作品 ・完成作品 【鑑】 ・ワークシート ・発言内容

令和2年度 芸術（書道）科 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覽

学校名 福井県立高志高等学校 普通科 1年

科目名	学科名	対象学年	単位数
書道 I	普通科（内進生）	1年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
光村図書 「書 I」		なし	

科目の目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。		
評価の観点および評価規準			
書道への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
学習活動への参加状況や態度 学習の記録の記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 制作カードの記入状況	作品構想カードの記入状況 試書等の記録ファイルの整理状況 学習のまとめの内容	制作カードの記入状況 学習成果（作品） 学習のまとめの内容	学習活動への参加状況や態度 鑑賞カードの記入状況 学習のまとめの内容

令和2年度 芸術科書道1 学習内容と評価の年間計画表

福井県立高志高等学校 普通科 1年

実施月	実施時数	分野	単元名 単元の目標	学習活動の領域				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	具体的評価規準				備考 (補助教材等)
				A表現 (1) 漢字仮 名交じり の書 アイウ	A表現 (2) 漢字の 書 アイウ	A表現 (3) 仮名の 書 アイウ	B鑑賞 アイ		書への 関心・意欲・態度(評 価方法)	書表現の構想と工夫 (評価方法)	創造的な書表現 の技能(評価方法)	鑑賞の能力(評価方 法)	
4	4	書写から書道へ	○書写から書道へ ・中学校までに学習した基本的な事項を確認する。 ・基本的な姿勢・執筆法を身につける。	○	○	○	○	・中学校までの書写の学習を振り返る。基本的な点画の種類を確認する。 ・文字を書くときの姿勢執筆法を理解する。	書写と書道の関係、さらに高等学校での書道の学習に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。(感想プリント)	中学校国語科書写で学習した、基礎的・基本的内容を踏まえて構想し、表現を工夫している。(発表プリント)	中学校までに学習した姿勢・執筆や基本点画等を確認し、身につけている。(基本点画プリント)	国語科書写と芸術科書道の関係を、「手本と拓本との関係」から理解している。(付箋)	古典掛け図書道史年表鑑賞シート
			○表現の違いを知ろう ・用具・用材を理解する ・用具・用材や用筆を変えることによる表現の違いを感じ取る。	○	○	○	○	・用具・用材や用筆、書く速さの変化等による表現の広がりを知り、その効果の違いを理解する。	用具・用材に関する基本的な知識や用い方に関心をもち、理解しようとしている。	用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り、表現を工夫しようとしている。(発表ワークシート)	用具・用材の特徴を確認し、理解している。(ワークシート)	いろいろな種類の文房四宝を見て触って違いを感じようとする。	いろいろな種類の文房四宝ワークシート
			○調和よく書いてみよう ・古典の鑑賞および臨書を表現に生かし、調和よく書こう。	○	○	○	○	・古典の臨書や鑑賞によって表現の基礎を学ぶことができ、それによって創造性豊かな表現が生まれることを理解する。	基本点画や用筆の基礎を身につけようとしている。	漢字と仮名の調和と配列について工夫しようとしている。		鑑賞と表現が相互に関連し合うことを理解している。(鑑賞シート)	鑑賞シート
5 6	6	4	○漢字の書体について ・漢字の書体の変遷について理解する。					・漢字の書体の変遷、時代背景について理解し、書体の特徴について話し合う。 ○ ・書体の変遷や特徴について話し合う。	漢字の書体の特徴に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとしている。グループで話し合う。			漢字の書体の変遷を理解している。(ワークシート)	古典掛け図書道史年表ワークシート
			○「曹全碑」 ・隷書の特徴とその成立過程を理解する。 ・臨書を通して「曹全碑」の特徴を理解する。			○	○	・隷書の成立過程を確認する。 ・楷・行・草書との比較から、用筆・造形の共通点と相違点を理解する。 ・隷書の特徴である蔵鋒による起筆や水平垂直の構成、波磔・波勢、転折の特徴を確認し、臨書する。 ・「曹全碑」の特徴について話し合う。	隷書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。「曹全碑」の表現技法に関心をもち、その美しさを味わおうとしている。	隷書の特徴を生かして、表現できるように、工夫している。「曹全碑」の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している。(発表ワークシート)	隷書の特徴を理解し、表現することができる。「曹全碑」の用筆・運筆の技法を習得し、表現に生かしている。(作品)	隷書の特徴をつかみ、筆使いを理解している。「曹全碑」の書風を理解している。相互批評を行い良いところ探しができる。(鑑賞シート)	発表ワークシート鑑賞シート
			○楷書の古典に学ぼう ・楷書の成立過程やさまざまな用筆による書風について理解する。				○	・楷書の特徴を理解する。 ・楷書の成立過程を確認する。 ・楷書の中にもさまざまな用筆や味わい(書風)があることを理解する。 ・楷書の特徴について話し合う。	楷書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについて関心をもち、理解しようとしている。古典の書美と表現技法に関心をもち、意欲的に身につけようとしている。	楷書の特徴を生かして、表現できるように、工夫している。	楷書の特徴を理解し、表現することができる。各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。	楷書の特徴をつかみ、筆遣いを理解している。様々な楷書を鑑賞し、書風の違いについてや、古典の書美を理解し、表現技法を理解している。	古典掛け図書道史年表ワークシートプロジェクター
			○「孔子廟堂碑」 ・「虞世南」の書について理解する。 ・臨書を通して「孔子廟堂碑」の特徴を理解する。 ・書風の違いを見つけて鑑賞する。			○	○	・「孔子廟堂碑」と筆者・虞世南について知る。 ・拓本について知る。 ・「孔子廟堂碑」を鑑賞し、全体的に丸みを帯びた字形やゆるやかな転折、伸びやかな払い等の書風を捉え、ワークシートに書き込む。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。 ・「孔子廟堂碑」の特徴について話し合う。	「孔子廟堂碑」の表現技法に関心をもち、その美しさを味わおうとしている。唐の時代との比較を通して、書道史に関心を持っている。	「孔子廟堂碑」の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している。(発表ワークシート)	「孔子廟堂碑」の用筆・運筆の技法を習得し、表現に生かしている。(作品)	「孔子廟堂碑」の書風を理解している。相互批評を行い、良いところ探しができる。(鑑賞シート)	ワークシート鑑賞シート

6・7	12	漢字の書	○太宗皇帝と初唐の三大家 ・太宗と初唐の三大家の関係やそれぞれの書風について理解する。								○ ・太宗の人となり、初唐の三大家との関係を知り、それぞれの書風を一覧にまとめて比較する。 ・三大家の書風について話し合う。	太宗や初唐の三大家について関心をもって (ワークシート)			初唐の三大家のそれぞれの書風について理解している。(鑑賞シート)	書道史年表鑑賞シート
			○「顔氏家廟碑」 ・「顔真卿」の書について理解する。 ・臨書を通して「顔氏家廟碑」の特徴を理解する。 ・書風の違いを見つけて鑑賞する。						○ ・「顔氏家廟碑」と筆者・顔真卿について知る。 ・「顔氏家廟碑」を鑑賞し、速度や筆圧の変化に富んだ肉太で重量感のある書風を捉え、ワークシートに書き込む。 ・「蚕頭燕尾」の筆使いを確認し、右払い・縦画のはねを毛筆で書く。 ・用筆と字形の特徴を理解し、臨書する。 ・「顔氏家廟碑」の特徴について話し合う。	「顔氏家廟碑」の表現技法に関心を持ち、その美しさを味わおうとしている。 ・唐の時代との比較を通して、書道史に関心を持っている。	「顔氏家廟碑」の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している。(発表ワークシート)	「顔氏家廟碑」の用筆・運筆の技法を習得し、表現に生かしている。(作品)	「顔氏家廟碑」の書風を理解している。相互批評を行い、良いところ探しができている。(鑑賞シート)	ワークシート鑑賞シート		
			○行書の古典に学ぼう ・行書の特徴とその成立過程を理解する。 ・「蘭亭序」が尊重され、受け継がれてきた経緯を理解する。						○ ・行書の成立過程を確認する。 ・楷書と比較して、用筆や運筆、造形の違いを確認する。 ・行書の成立と王羲之の関係や、「蘭亭序」が尊重され、受け継がれてきた経緯を知る。 ・行書の特徴について話し合う。	行書の成立や主な特徴に関心を持ち、意欲的、主体的に味わおうとしている。	行書の特徴を生かして表現できるように工夫している。	行書の特徴を理解し、表現することができる。	王羲之「蘭亭序」が尊重されてきた経緯を理解している。(鑑賞シート)	鑑賞シート		
9	8		○ ・篆刻における印の名称や種類、使い方、用具・用材について知る。 ・手順を理解し、構想を練り、制作する。	○ ・篆刻について興味・関心をもって意欲的に取り組んでいる。	篆書の特徴を生かして、草稿、印稿、運刀などができるように工夫している。	篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を朱文1文字刻することができる。	お互いに鑑賞し合い、相互評価を行う。印が日常生活で果たしている役割を理解している。(印譜プリント)	印材、用具用材と印譜プリント								
10 11	12		○「蘭亭序」を臨書しよう ・筆者・王羲之について理解する。 ・鑑賞・臨書を通して「蘭亭序」の特徴を理解する。				○ ・「蘭亭序」が書かれた背景と文章の概要を知る。 ・「蘭亭序」を鑑賞し、おおらかな運筆や点画の連続を捉え、ワークシートに書き込む。 ・用筆や筆順、字形の特徴を理解し、臨書する。 ・「蘭亭序」の特徴について話し合う。	「蘭亭序」の表現技法に関心を持ち、その美しさを味わおうとしている。	「蘭亭序」の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している。(発表ワークシート)	「蘭亭序」の用筆・運筆の技法を習得し、表現に生かしている。(作品)	「蘭亭序」の書風を理解している。相互批評を行い良いところ探しができている。(鑑賞シート)	蘭亭序の補助教材 ワークシート 鑑賞シート				
			○「蘭亭序」を全臨しよう				○ ・「蘭亭序」の全臨に挑戦しよう。 ・半紙6字54枚を計画を立てて臨書する。 ・表紙を付けて作品集を作る。・お互いの作品の鑑賞会、講評会をする。	全臨することの意義を理解し、作品集を完成させることへの関心を高め、取り組もうとする。	文字の大きさ、6字の配置、筆順等を補助教材を使って体裁よく仕上げようとしている。	完成を想像し、自分のペースで1枚1枚仕上げようとしている。できるだけ1枚で仕上げられるように緊張感を持続して仕上げられる技能を養う工夫をしている。	鑑賞会を通して、相互批評を加え、お互いを認め合う姿勢を持っている。	蘭亭序の補助教材 ワークシート 鑑賞シート プロジェクター				
12	4		○創作しよう ・古典の学習を生かして、漢字の作品を創作する。 ・創作を通して充実感や喜びを味わう。				○ ・創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 ・創作例を参考にして、表現したいイメージを古典から見つけ出し、紙面構成等に配慮して創作する。 ・創作を通して、これまでに学習してきた漢字の書への関心を高める。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の多様性を発表し合う。	漢字の書の創作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	自己の中にある作品のイメージに表現を近づけるため、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫している。古典を参考に構想を工夫している。(ワークシート)	用筆・運筆を理解して表現している。(作品) 字形や全体の構成に配慮して表現している。(作品)	書き上げた作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。他者の作品から作者の意図を理解し、個性や美しさを感じ取っている。(鑑賞シート・相互評価シート)	ワークシート 鑑賞シート 相互評価シート				
			○仮名の基本を学ぼう ・基本的な執筆法、用具・用材について理解する。 ・仮名の基本的な用筆で書こう。				○ ・小筆の種類や筆の構え方について知り、使い方に慣れる。 ・仮名に適した用材を知る。 ・仮名の基本線(直線・曲線・転折)について、それぞれの特徴を理解して書く。	仮名の基礎・基本の表現技法に関心を持っている。	用具・用材や用筆による表現の変化を感じ取り、表現を工夫している。	仮名の基本用筆に注意して書くことができる。紙へのあたりや回転のリズムを意識して書くことができる。	仮名の基本用筆の特徴を理解し執筆法を活用できる。(鑑賞シート)	鑑賞シート				

3	4	漢字 仮名 交じり の書	○漢字仮名交じりの書を知ろう ・漢字仮名交じりの書の表現と美について考える。								○	・漢字仮名交じりの書にはさまざまな表現と美があることを知り、それぞれの時代(平安・江戸・明治・現代)の作品を見比べていく。	漢字と仮名の字形や線質に関心をもち、意欲的・主体的に取り組もうとしている。	身の回りの言葉の中から好きな文章を見つけ、作品制作のための構想を練る。	自分の中にある作品のイメージに表現を近づけ、紙面構成や文字の造形などを様々に工夫して表現することができる。	それぞれの時代に合った名品を鑑賞し、様々な表現があることに気づき理解している。				
			○漢字仮名交じりの書を学ぼう ・言葉と表現の関係や古典を生かした漢字と仮名の調和、構成の工夫について理解する。	○	○	○							○	・言葉が人の心を動かすことを理解し、創作への関心・意欲を高める。 ・著作権について知る。 ・題材とする言葉のイメージをもとに、漢字と仮名を調和させて書く方法を知る。 ・紙面構成の変化により表現の幅が広がることを知る。	漢字仮名交じりの書表現に関心をもち、意欲的に理解しようとしている。	漢字と仮名の調和や、構成の変化による書表現の広がりを理解している。(ワークシート)	古筆に学び、漢字と仮名の書風や用筆を調和させて書くことができる。	古典より言葉を探し、古筆を生かし、漢字と仮名を調和させる方法を理解している。	ワークシート 古筆プリント	
			○鑑賞しよう ・漢字仮名交じりの書の作品から、筆者の表現意図を感じ取る。 ・古典の要素が作品に生かされていることを理解する。											○	・漢字仮名交じりの書の作品から受ける印象や筆者の表現意図、作品の美を構成する要素などについて話し合う。 ・これまでに学んできた古典の美の要素が作品にどのように生かされているかを確認する。	漢字仮名交じりの書の作品に関心をもち、表現効果を味わっている。	漢字仮名交じりの書の名筆に触れ、美しさや良さを感じ取る工夫をしている。	古典に含まれる要素を抜き出し作品の中に取り入れて表現している。(作品意図カード)	漢字仮名交じりの書の作品から個性や美しさを感じ取り、筆者の意図を理解している。 実用的な書が日常生活で果たしている役割を理解し身の回りの書を見つけ仲間に発表できる。(発表シート)	発表シート 作品意図カード
			○創作しよう ・漢字仮名交じりの書を創作する。 ・創作活動を通して充実感や喜びを味わう。	○	○	○								○	・創作の手順を理解し、作品の構想を練る。 ・創作例を参考にして、表現したいイメージを見つけ出し、紙面構成等に配慮して制作する。 ・創作を通して、これまでに学習してきた漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書への関心を高める。 ・互いの作品を鑑賞し、表現の多様性を発表し合う。	表現の構想から完成に至るまで主体的に取り組もうとしている。	表現に応じた用具・用材を選択し、表現を工夫している。(ワークシート) 漢字と仮名の字形や文字の大きさなど、全体構成を工夫している。(ワークシート)	文字群や余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現をしている。(作品) 古典の特徴を生かし、漢字と仮名の線質を調和させて表現している。(作品)	他者の作品から作者の意図を理解し、個性や美しさを感じ取っている。(鑑賞シート)	ワークシート 鑑賞シート
			○暮らしの中に書を取り入れよう。 ・書を日常生活に生かして充実感や喜びを味わう。	○	○	○								○	・日常生活における多様な書の在り方を知り、自らの生活に取り入れる意識を高める。 ・手書きのよさや楽しさについて話し合い、自分らしい表現について考える。 ・実用的な書の大切さを理解し、これまでに学習してきた技能を生かして書く。	暮らしの中に書を生かそうとしたり、暮らしに生きる書に関心をもちたりしている。	書道の学習で身につけたことを生かして、暮らしの中に書を生かす工夫をしている。表現に応じた用具・用材を選択し、表現を工夫している。(ワークシート)	創造的な表現をするために全体構成を意識した表現をしている。(作品)	実用的な書が日常生活で果たしている役割を理解し、身の回りの書を見つけ仲間に発表できる。(発表シート)	ワークシート 発表シート

令和2年度 英語科 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
コミュニケーション英語 I	普通科 (内進生)	1年	3
教科書 (出版社・タイトル)		補助教材等	
CROWN English Communication I (三省堂)		CROWN English Communication I WORKBOOK ADVANCED (三省堂)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明し、情報や考えなどを適切に伝えている。また、与えられたテーマについて議論・討論する能力を養う。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。

コミュニケーション英語 I 指導と評価の年間計画

： 内 准 科 目 一 覧

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	10	Lesson 1 When Word Won't Work	ピクトグラムがコミュニケーションツールとして有用であるという話	ア 既知の表現を用いながら、積極的に話す。 イ 英語学習の目的と効果的な方法について、意見交換する。 ウ コミュニケーションツールとして言葉以外の手段があることを理解する。 エ 基本的な文型や動名詞について理解する。	①「ことば」の役割について、積極的に議論をしている。	①英語学習の目的について、口頭で説明することができる。 ② ピクトグラムと「ことば」の役割、可能性を、正しく読み取ることができる。	①英文の概要を理解することができる。 ② ピクトグラムと「ことば」の役割、可能性を、正しく読み取ることができる。	①自分の考えや意図を伝える表現を適切に用いて文を作ることができる。 ②基本的な文型や動名詞を理解する。	・ピクトグラムが将来どうなるかについて、自分の考えを話す活動 ・英語を学習する目的やその学習法について、パラグラフを書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・音読&インタビューテスト ・ライティング
5	10	Lesson 2 Going into Space	若田光一が宇宙飛行士としてISSに搭乗し長期滞在した経験について述べた文章	ア 話の流れや登場人物の心情を推測しながら、英文を読む。 イ 話の続きや登場人物の心情を推測して、意見交換する。 ウ 場面ごとの登場人物の言動を理解し、心情を推測する。 エ 現在完了形・不定詞について理解する。	①宇宙について深く考え、積極的に議論をしている。	①「夢」「居住年数」について、文法に注意して正しく話すことができる。 ②宇宙開発への賛否について、議論・討論することができる。	①登場人物の言動をとらえながら、概要を理解することができる。 ②若田宇宙飛行士が考える「危険を冒しても人類が宇宙へ行くことの意義」を正しく読み取ることができる。	①気持ちを伝える表現を適切に用いて文を作ることができる。 ②現在完了形・不定詞を用いた基本的な英文の意味や構造を理解する。	・宇宙開発への賛否について、わかりやすく話す活動 ・本文を読んだ感想を書いたり発表したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・インタビューテスト ・ライティング
6	10	Lesson 3 Canoe Is an Island	内野加奈子がかヌーでハワイから日本への航海を成功させた経験、日本への航海中に内野の胸に去来した思いなどが語られている文章	ア カヌーでの航海について地図や写真を見ながら英文を理解する。 イ 写真や地図を見て英語で説明したり、本文の内容をまとめて述べたりする。 ウ 内野加奈子の経験や心情を理解する。 エ 分詞や関係代名詞を用いた基本的な英文の意味や構造を理解する。	①伝統文化の継承意義について、積極的に話し合っている。	①好きな作家・ミュージシャンについて、文法に注意して正しく話すことができる。 ②伝統文化を継承する意義についての自分の意見を簡潔にまとめ、話し合えることができる。	①内野加奈子の経験を読みとりながら、本文中の事実情報を捉えることができる。 ②ホクレア号の航海の過程や伝統航海術の手法を、正しく読み取ることができる。	①分詞を用いた表現に習熟することができる。 ②関係代名詞を用いた英文の意味や構造を理解する。	・伝統文化を継承する意義についての自分の意見を、整理して話す活動 ・伝統文化を継承する意義についての自分の意見を、簡潔にまとめる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・ライティング
7	10	Lesson 4 Seeing with the Eyes of the Heart	視覚に障害を持つ辻井伸行が作曲家として演奏したり、ドラマや映画の音楽を制作したりする活動について述べた文章	ア ピアニスト辻井伸行の業績を通して、ひとつのことを継続してやることの大切さを知る。 イ 辻井伸行の経験や心情を理解する。 ウ 関係代名詞what、過去完了、S+V+O+C、知覚動詞・使役動詞について理解する。	①辻井伸行の思いに共感しながら、本文を読もうとしている。また、音楽の力について積極的に自分の意見を言おうとしている。	①各パートの要点を口頭で述べることができる。 ②「音楽の力」が自分たちにどのように影響しているのかを伝えることができる。	①辻井伸行が生まれてからコンクールで優勝し、支援活動をするまでの過程を、正しく読み取ることができる。 ②辻井伸行の父親に対する心情を適切に読み取ることができる。	①関係代名詞what、過去完了、S+V+O+C、知覚動詞・使役動詞の意味や構造を理解する。	・「音楽の力」についての自分の考えを、説得力をもって話す活動 ・本文のパートごとの要点をまとめて言う活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・音読&インタビューテスト

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
9	10	Lesson 5 Food Bank	品質に問題がないのを見かけなどから流通不能になった食品を寄付してもらい、生活困窮者へ配給する活動をおこなう団体であるフードバンクについて述べた文章	ア フードバンクの活動を知り、貧困やボランティア活動について考える。 イ フードバンクの活動について、感じたことを表現する。 ウ フードバンクを始めたマクジルトンの経験や心情を理解する。 エ 関係副詞、S+V+O+C(C=分詞)、S+V+C(C=分詞)を理解する。	①ボランティアの意義と国の役割についての意見を、積極的に他者と共有しようとしている。	①ボランティアの意義と国の役割について、整理してまとまりよく話すことができる。 ②ボランティアの意義と国の役割や、ボランティアのあり方について討論することができる。	①深刻になりつつある貧困の問題、格差の問題について理解する。 ②ボランティア活動をするうえで大切なことに気づく。	①関係副詞、S+V+O+C(C=分詞)、S+V+C(C=分詞)の意味や構造を理解する。	・貧困の問題、格差の問題について自分の意見を発表する活動 ・フードバンクの活動について感想を述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・インタビューテスト ・発表&質疑応答
10	10	Lesson 6 Roots & Shoots	動物保護団体 Roots & Shoots を設立した動物学者グドール博士にインタビューした文章	ア グループ内の話し合いに積極的に取り組む。 イ グドール博士の野生動物について、考えたことを表現する。 ウ 動物保護団体 Roots & Shoots を設立するまでの過程について理解する。 エ 分詞構文、形式主語、同格などについて理解する。	①環境保護について自分たちができることや、絶滅危惧種の保護の是非などについて積極的に話そうとしている。	①絶滅危惧種の保護が必要かどうかについての自分の意見を、具体的に話すことができる。 ②絶滅危惧種の保護が必要かどうかについて、議論・討論することができる。	①チンパンジーと人間の、類似点と異なる点を正しく読み取るができる。 ②グドール博士の考える環境保護活動について、ポイントを押さえながら読むことができる。	①分詞構文、形式主語、同格などの文法を理解する。 ②インタビューの形式を知る。	・Roots & Shootsの活動について調べたことを発表する活動 ・「共生」の大切さを知り、自分になにができるかを考えて発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・発表&質疑応答
11	10	Lesson 7 Paper Architect	建築家坂茂が、ルワンダの難民シェルターや阪神淡路大震災の仮設住宅や集会所を建設することを説明した文章	ア 発表活動に積極的に取り組む。 イ 坂茂がこれまでおこなってきた被災地支援の歴史を理解する。 ウ 被災者にとって本当に必要な「支援」とはどんなことなのか理解する。 エ 受動態の完了形、形式目的語の it について理解する。	①さまざまな建築資材についての質問に対して、積極的に話している。 ②本当の支援とは何かを深く考えようとしている。	①仮設住宅の必要条件について、自分の意見を話すことができる。 ②被災者の立場を考慮しながら「支援の在り方」について議論することができる。	①坂茂が被災地支援をする理由を正しく読み取ることができる。 ②坂茂が考える仮設住宅の必要条件とその理由を、正しく読み取ることができる。	①坂茂がこれまでおこなってきた被災地支援の歴史を知る。 ②受動態の完了形、形式目的語の it について理解する。	・仮設住宅の必要条件について、自分の意見をわかりやすく書く活動 ・被災者にとって本当に必要な「支援」について調べたことを発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・レポート ・発表&質疑応答
12	10	Lesson 8 Not So Long Ago	20世紀に起きた戦争について写真を通して説明する話	ア それぞれの写真が撮影された状況を正しく読み取る。 イ 戦争の悲惨さや平和の重要性を理解するとともに、写真の持つ力を知る。 ウ 本文を読んだ後の感想を英語で書く。 エ 仮定法過去、付帯状況の with を理解する。	①内容の展開を理解しながら読み、内容について意見や感想を述べようとしている。 ②平和についての自分の考えを、積極的に伝えようとしている。	①現在の事実とは異なる仮定を、文法に注意して正しく話すことができる。 ②写真がこれまで自分たちに伝えてきたことについて調べ、発表することができる。	①それぞれの写真が撮影された状況を正しく読み取ることができる。 ②それぞれの写真についての文章を、適切な速さで読み、概要を把握することができる。	①戦争の悲惨さや平和の重要性を理解するとともに、写真の持つ力を知る。 ②仮定法過去、付帯状況の with を理解する。	・本文中の人々の心情について、考えたことを述べ合う活動 ・21世紀に生きる自分たちが、20世紀から得られた教訓について意見交換したり、感想を書いたりする活動	・定期考査 ・ワークシート ・言語活動の観察 ・ライティング

令和2年度 英語科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Research & Presentation	普通科 (内進生)	1年	3
教科書 (出版社・タイトル)		補助教材等	
		PATHWAYS 1: Reading, Writing, and Critical Thinking (CENGAGE Learning)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを整理し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
評価の観点および趣旨			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどについて論点や根拠などを明確にし、効果的な方法で相手に伝えることができる。	様々な話題についての英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解することができる。	アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けている。プレゼンテーションのの仕方や、自分の考えを効果的に伝えるために必要な表現などを理解している。

「英語活用Research & Presentation」(1年)指導と評価の年間計画(教師用)

標準科目一覽

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	10	Life in a Day	世界の人々の生活について書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 外国人が興味深いと感じる日本人の生活習慣について発表する。 ウ 人々の生活について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 生活に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート
5	10	Learning Experiences	世界の教育状況について書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 将来の目標とそれを達成するために必要なことについて発表する。 ウ 世界の教育状況について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 教育に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート
6	10	Family Ties	人類の進化の過程について書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 世界の民族について発表する。 ウ 人類の進化の過程について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人類の進化に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	10	The Trouble with Trash	ゴミ問題について書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 環境問題を解決するためにできることについて発表する。 ウ ゴミ問題について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 環境問題に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート
9	10	The World in Our Kitchen	世界の食糧、鉱物について書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 地産地消運動についてリサーチしたことを発表する。 ウ 世界の食糧、鉱物について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 食糧に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート
10	11	Future Living	未来の生活・テクノロジーについて書かれた内容	ア コミュニケーション活動に積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 2050年の世界がどうなっているかについて発表する。 ウ 未来の生活・テクノロジーについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 科学技術に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①コミュニケーション活動に積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート
11	11	Exploration and Discovery	人類の探検について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 探検したい場所・行ってみたい場所について発表する。 ウ 人類の探検について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人類の探検に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①英文の内容に基づき、自分の意見や考えを述べることができる。 ②与えられたテーマについて考えたり調べたりしたことについて効果的に発表することができる。		①自分の意見や考えを伝えるための表現を身に付けている。 ②効果的な発表の方法を理解している。	・英文を読んだり聞いたりして概要を理解する活動 ・口頭で情報交換・意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり話したりして発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・口頭発表 ・レポート

令和2年度 英語科 指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Debate & Discussion	普通科（内進生）	1年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
		PATHWAYS Reading, Writing and Critical Thinking (CENGAGE Learning)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを様々な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら議論・討論する能力を養う。		
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどを論理的にまとめ、効果的な方法で相手に伝えたり、議論・討論することができる。		アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語活用 Debate & Discussion」(1年)指導と評価の年間計画(教師用)

進 科目一覽

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動/学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	8	Life in a Day	人の生活について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った製品の素材について英文レポートを作成する。 ウ 人の生活について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人の生活に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②自分の一日についてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②自分の一日についてのレポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート
5	8	Learning Experiences	世界の教育状況について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った製品の素材について英文レポートを作成する。 ウ 世界の教育状況について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 教育に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②自分の目標や目標を達成するために必要なことについてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②自分の目標や目標を達成するために必要なことについてのレポート作成で使用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート ・定期考査
5 6	5	ディベート	命題について、クラス内でディベートを行う。	ア 命題について調べ、まとめる。 イ 聞き手に自分の質問を簡潔に述べたり、意見をわかりやすく説明する。 ウ 相手の発表を正しく理解し、内容について質問をする。 エ 命題に関わる語彙や表現を適切に使う。	①積極的にテーマについて調べようとしている。 ②仲間と協力しながら、相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。		①与えられた命題について、意見や質問をする際、適切な語彙や表現を使うことができる。	・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動。	・ディベート ・ディベート原稿 ・ディベートフローシート

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
6	8	Family Ties	人類の進化の過程について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、生物の生活について英文レポートを作成する。 ウ 人類の進化の過程について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人類の進化に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②家族のメンバーについてレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②家族のメンバーについてのレポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・本文を読んだ感想を書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート
6 7	8	The Trouble with Trash	ゴミ問題について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った薬について英文レポートを作成する。 ウ ゴミ問題について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 環境問題に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べる。 ②環境問題に対して自分たちができることについてレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②環境問題に対して自分たちができることについてのレポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート ・定期考査
7	5	ディベート	命題について、クラス内でディベートを行う。	ア 命題について調べ、まとめる。 イ 聞き手に自分の質問を簡潔に述べたり、意見をわかりやすく説明する。 ウ 相手の発表を正しく理解し、内容について質問をする。 エ 命題に関わる語彙や表現を適切に使う。	①積極的にテーマについて調べようとしている。 ②仲間と協力しながら、相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。		①与えられた命題について、意見や質問をする際、適切な語彙や表現を使うことができる。	・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動。	・ディベート ・ディベート原稿 ・ディベートフローシート

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
9	8	The World in Our Kitchen	世界の食糧、鉱物について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った体の仕組みについて英文レポートを作成する。 ウ 世界の食糧、鉱物について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 食糧・鉱物に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②自分たちが購入している食べ物についてレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②自分たちが購入している食べ物についてのレポート作成で使える語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート
10	8	Future Living	未来の生活・テクノロジーについて書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った製品の素材について英文レポートを作成する。 ウ 未来の生活・テクノロジーについて書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 科学技術に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②2050年の世界についてレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②2050年の世界についてのレポート作成で使える語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート
10 11	5	ディベート	命題について、クラス内でディベートを行う。	ア 命題について調べ、まとめる。 イ 聞き手に自分の質問を簡潔に述べたり、意見をわかりやすく説明する。 ウ 相手の発表を正しく理解し、内容について質問をする。 エ 命題に関わる語彙や表現を適切に使う。	①積極的にテーマについて調べようとしている。 ②仲間と協力しながら、相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。		①与えられた命題について、意見や質問をする際、適切な語彙や表現を使うことができる。	・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動。	・ディベート ・ディベート原稿 ・ディベートフローシート

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
11	8	Exploration and Discovery	人類の探検について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った製品の素材について英文レポートを作成する。 ウ 人類の探検について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人類の探検に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べることができる。 ②自分が世界で探検してみたいところについてレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②自分が世界で探検してみたいところについてのレポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート ・定期考査
12	6	Musicians with Message	音楽の力について書かれた内容	ア ペアワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、興味を持った製品の素材について英文レポートを作成する。 ウ 音楽の力について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 音楽に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②好きなミュージシャンについてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②好きなミュージシャンについてのレポート作成で利用できる語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・語彙・表現テスト ・レポート
12	6	ディベート	命題について、クラス内でディベートを行う。	ア 命題について調べ、まとめる。 イ 聞き手に自分の質問を簡潔に述べたり、意見をわかりやすく説明する。 ウ 相手の発表を正しく理解し、内容について質問をする。 エ 命題に関わる語彙や表現を適切に使う。	①積極的にテーマについて調べようとしている。 ②仲間と協力しながら、相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。		①与えられた命題について、意見や質問をする際、適切な語彙や表現を使うことができる。	・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動。	・ディベート ・ディベート原稿 ・ディベートフローシート

科目名	学科名	対象学年	単位数
家庭基礎	普通科 (内進生・高入生)	1年	2単位
使用教科書		補助教材等	
家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)		最新生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社) クッキングブック 調理の基礎と応用 (福井県高等学校教育研究会家庭部会)	

科目の目標	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------	---

評価の観点および評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上を目指してを主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	ペーパーテスト 実習作品 ノート・ワークシート(実践記録 実習記録 視聴記録 など) 課題等への取り組みと提出状況 授業態度 相互評価		

学習についてのアドバイス等	<p>①授業はしっかり聞き、自分の生活に役立てていくこと。これほどあなたの毎日の生活に深く関わり、役立つ学習は他にありません。人間らしく生きていく上での基礎になります。軽く考えず、しっかり聞いて、自分の生活を豊かにしていきましょう。</p> <p>②実習には意欲的に取り組むこと。自分の手で実際に作ったり、体験したことは、必ず心に残り、技術としてのあなたの生活を支えてくれます。</p> <p>③ノートやプリントなど提出物は期日厳守で提出すること。ただし、取り組みの過程も重視されます。いくら考査で良い点数を取っても、授業への取り組みが悪ければ、良い評価は得られません。</p>
---------------	---

1年 内進 科目一覧

実施月	単元の時数	学習指導要領の内容と指導事項			単元(題材)名	単元(題材)の目標	評価規準				評価方法	備考(補助教材等)
		(1)	(2)	(3)			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
4・7	2				家庭基礎がダンス ホームプロジェクトと学校家庭クラブ ホームプロジェクトに挑戦(夏季休業中)	家庭基礎で何を学び、どのような学習活動をするのかを知り、一年間の見通しを持つ HPや家庭クラブの意味と進め方について理解する。 自分の家庭、家族、生活から課題を見つけ、改善のために計画を立て実践する。	家庭基礎の学習内容、ホームプロジェクト、学校家庭クラブに関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 ホームプロジェクトに関心をもち、意欲的に自分の家庭や家族、生活から課題を見つけようとしている。	小中学校の学習とのつながりを踏まえ、これからの学習について考えを深めている。 生活上の課題を解決するための手法について考え、判断し実践している。	生活上の課題を解決するための技術身に付けている。	家庭基礎の一年間の学習内容について理解している。 ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動について、理解している。	ノート ノート ホームプロジェクト記録	学校全体の教育活動との関連・地域の社会福祉協議会等との連携など HPを常に意識させる。 全国大会・北陸大会DVD
4 5	8			○ア(ア)(イ)	第1章 家族・家庭を見つける これからの家族生活と社会 わたしのしあわせライフプラン 青年期の課題 自分らしい人生をつくる	成年年齢18歳について知る。 家族に関する法律を知る。様々な家族の形があることを理解し、男女が相互に協力して家庭を築き、家族関係をつくる必要性を学ぶ。 家事労働・職業労働について理解する。 福井県の現状を知り、自分が築きたい家庭、ワーク、ライフ、プランについて考える。 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 生涯発達の見点から今の自分を客観的に見つめ、自立、職業選択、アイデンティティについて考える。 自分の人生を考えて曼荼羅チャートに表す。	意欲的に内容を理解しようとしている。 民法と日本の家族の関係について意欲的に考えようとしている。 多様な生き方を認め、積極的に家族・家庭と社会とのかかわりを考えようとしている。 将来自分が創造する生活と家庭、家族について具体的に考えようとしている。 グラフや表から福井県の現状について読み取り、要因等を推測しようとしている。 生涯発達の見点にたち、各ライフステージの特徴と課題に関心を持っている。 青年期の課題について、自分に当てはめて具体的に考えようとしている。 自分の将来の目標を達成するために、今すべきことを段階的に考えチャートに表現している。	家庭生活を支える法律や社会制度の在り方について考え、まとめたり、発表したりしている。 男女共同参画の面から、各自が担う家庭での役割と自立について考え、まとめたり、発表したりしている。 福井県の魅力、課題を踏まえて、自分の将来について具体的に考えを深めている。 自分を見つめ、肯定的な自己概念をもち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめている。	家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 グラフ、表から福井県の魅力、課題をまとめることができる。	成年年齢引下げについて理解している。 家族に関する法律について理解している。 福井県の現状について理解するとともに、自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さを理解している。 生涯発達の見点から書くライフステージの特徴と課題について理解している。 青年期の課題や家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会とのかかわりについて理解している。	ノート(ワークシート・資料収集状況・活用・分析状況) 感想・発表の様子 ペーパーテスト ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト	生活ハンドブック 県作成「わたしのしあわせライフプラン」活用 「曼荼羅チャート」
4	2			○ウ(ア)(イ)	第3章 高齢社会を生きる 高齢者を理解する 高齢者の心身の特徴 これからの高齢社会	高齢社会の現状と課題を理解する。 高齢者の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。 高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心をもち、高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。	高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、まとめたり、発表したりしている。	地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査することができる。	高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。 高齢者の意思を尊重し、思いやりを持って接することの大切さを理解している。 高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト	疑似体験用具・DVD 生活ハンドブック

5 6 7 9	16	O (7) (イ)	第6章 衣生活をつくる 被服の役割を考える	被服のさまざまな役割を整理する。	衣生活に関心を持ち、人間と被服、気候と被服のかかわりを考えようとしている。	各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理について考えを深めている。	用途、着用目的、デザインに応じた適切な被服材料の選択ができる。	着装、被服構成、被服の機能などについて理解している。	ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト	生活ハンドブック	
			被服を管理する	被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。	持続可能な衣生活について考えようとしている。	被服材料の性能改善と着心地、安全に配慮した被服について考え、まとめたり、発表したりしている。	品質表示や取り扱い表示を読み取り、適切な洗濯の管理ができる。	被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。	資源の有効活用の視点から、購入、活用、手入れ、保管、再利用、廃棄を考えた持続可能な衣生活の必要性を理解している。	発表の様子・行動観察 ペーパーテスト	布、繊維見本 実験器具
			これからの衣生活	生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようになる。	手縫い、ミシン縫いの技術に関する知識、確実にできるようにする。	手縫い、ミシン縫いの技術についてうまくできる方法を考え、言葉で表現できる。	並縫い、返し縫い、まつり縫い、ボタン付け、直線縫い、端ミシンが確実にできる。	手縫い、ミシン縫いの技術についての知識を持っている。	安全と環境に配慮した衣生活や現代の衣生活の課題を認識し、その知識を身に付けている。		布(基礎縫い・エプロン)見本・VTR教材
9	1		ホームプロジェクト発表	夏休みの宿題を発表する。		生活上の課題を見出し、その解決を目指して科学的に探求し、まとめたり、発表したりしている。		ホームプロジェクトの実践に必要な知識を身に付けている。	レポート・発表の様子・資料収集状況・活用・分析状況	発表形式や時期の工夫	
9 10	7	ウ (7) (イ)	第7章 住生活をつくる	住居の機能や間取りの基礎知識を理解する。	生涯を見通し、住居の機能や住空間の計画などについて関心を持ち、よりよい住生活について考えようとしている。	ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、工夫している。	よりよい居住環境を整備するために必要な平面図を読み取ることができる。	住居の機能、平面表示記号や設備記号など住宅情報を読み取るための知識を身に付けている。	ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト	生活ハンドブック	
			住生活について考える	住宅情報を読み取り、ライフステージに合った住居を選ぶ。	先人の知恵を生かした快適な住生活や住まい方や住環境について考えようとしている。	住宅情報を読み取って、比較し、目的に応じた住宅について判断している。	家族構成やライフステージ、生活価値観に応じた住空間の計画ができる。	住空間の計画、住環境など、安全で快適な住まいについて理解している。			
			住生活の計画と選択	住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を学ぶ。		家庭内事故など、近年の安全な住環境の課題について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。	健康や安全に配慮した室内整備や住環境について情報を収集・整理し、検討することができる。	安全と環境に配慮した住環境や現代の住生活の課題を認識し、持続可能な住生活のための知識を身に付けている。			
10 11	8	エ イ オ (7) (イ)	第8章 経済生活を営む 職業生活を設計する。	高校三年時に成年となることを踏まえ、生徒が経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。	生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。	家庭の経済生活の諸課題の具体的な事例を収集・整理したり、生涯を見通した経済計画を立てることができる。	生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。	ノート(ワークシート・資料収集状況・活用・分析状況) 感想・発表の様子 ペーパーテスト			
軽減税率を知り、計画的に使う	生活の基盤となる家計管理の重要性を認識する。			家計の収入と支出から適切なマネジメントを考えまとめられる。	給与、家計の収入と支出の成り立ちを理解している。	軽減税率の内容を理解している。					
国民経済・国際経済と家庭の経済生活	国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。					家庭経済と国民経済のかかわり、家計の管理や経済計画の重要性を理解している。					
			消費行動と意思決定	消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。	適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち、消費行動における意思決定の重要性について考えようとしている。	消費行動における意思決定について、具体的な事例をふまえて主体的に考え適切に判断することができる。	消費行動における意思決定の重要性を理解している。				
			現代の消費社会	キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。		多発する消費者問題について、その原因と対策について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりしている。	自立した消費者として、多様な情報の中から、適切な情報を取捨選択し、目的に応じて活用する技術を身に付けている。	消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。			
			これからの消費生活と環境	大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。	環境保全に対する社会全体の取り組みや見通しの必要性から、持続可能な社会に向けた消費行動をしようとしている。	消費行動と環境とのかかわりについて、自信の生活と関連させて課題を見出し、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え、工夫している。	身近な生活の中から、環境にかかわる生活のしかたを点検し、生活様式の見直しや環境に調和した生活など、自分の消費行動を検証することができる。	環境問題に配慮したグリーン消費者となることが求められていることを理解し、家庭生活と資源・環境とのかかわりについて自立した消費者になるための知識を身に付けている。			

11 12 1 2	20	イ ア (ア) (イ)	<p>第5章 食生活をつくる 食生活の課題について考える</p> <p>食事と栄養・食品</p> <p>食生活の安全と衛生</p> <p>生涯の健康を見直した食事計画</p> <p>調理の基礎</p> <p>これからの食生活</p>	<p>日常の食生活を振り返り、食生活の課題について考える。</p> <p>日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解する。</p> <p>食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ぶ。</p> <p>日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめ、各ライフステージの栄養的特徴を知る。</p> <p>基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。</p> <p>食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考える。生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようになる。</p>	<p>自分や家族の食生活に関心を持ち、食生活と健康のかかわりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に取り組もうとしている。</p> <p>食品表示に関心を持ち、食生活の安全と環境について考えようとしている。</p> <p>食事調査や食品成分表を活用して栄養計算し、食生活の問題点を考えようとしている。</p> <p>調理実習や実験などに、積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>現代の食生活と食事の意義について思考を深めている。</p> <p>栄養と健康な食生活のかかわりについて具体的に考え、まとめることができる。</p> <p>食品の購入から廃棄、環境とのかかわりなど、持続可能な食生活について考え工夫している。</p> <p>食事摂取基準や食品群別摂取量の目安について、家族や自分の食生活と関連してまとめたり、発表している。</p> <p>時間内に調理が完成できるよう、段取りを考え、効率よく作業できるよう工夫している。</p> <p>食品をめぐる近年の事例から、食生活の安全性や環境について思考を深めている。</p>	<p>主体的に食生活を営むために必要な情報を収集・整理し・検討することができる。</p> <p>栄養、健康、コストなどいろいろな側面を考えて、食品を選択できる。</p> <p>食品成分表を活用して、栄養計算をすることができる。</p> <p>食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。</p>	<p>栄養・食品・調理及び食品衛生など、食事と健康とのかかわりについて理解している。</p> <p>現代の食生活の課題、食品の安全性と環境についての課題を認識し、その知識を身に付けている。</p> <p>調理実習を通して、食生活の自立に必要な知識を身に付けている。</p>	<p>ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト</p>	<p>生活ハンドブック 食品成分表</p> <p>食品見本</p> <p>クッキングブック</p>
2 3	5	イ ア (ア) (イ)	<p>第2章 子どもと共に育つ</p> <p>子どもの育つ力を知る。</p> <p>親として共に育つ</p> <p>これからの保育環境</p>	<p>子どもの育つ力と発達段階を知る。人生における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。</p> <p>遊び、基本的生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。</p> <p>愛着の形成と親としての成長を理解する。</p> <p>子どもを取り巻く社会変化の現状について理解し、考える。児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。</p>	<p>子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。</p> <p>子どもの発達や生活に関心を持ち、保育の重要性や社会の果たす役割を考えようとしている。</p>	<p>児童虐待や育児不安の事例研究を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。</p> <p>子どもを取り巻く環境の変化と子どもを育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめたり、発表したりしている。</p>	<p>子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。</p> <p>子育ての意義の重要性について理解している。</p> <p>子どもの心身の発達や生活と環境とのかかわりについて、家族及び地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。</p>	<p>子どもの心身の発達について必要な知識を身に付けている。</p> <p>子育ての意義の重要性について理解している。</p>	<p>ノート(ワークシート・感想・レポート・資料収集状況・活用・分析状況) 発表の様子・行動観察 ペーパーテスト</p>	<p>胎児模型、赤ちゃん模型、絵本、折り紙 生活ハンドブック</p>
3	1	カ	<p>第9章 生活を設計する 生涯を見通す</p>	<p>今までの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立て、4月に作成した曼荼羅チャートを修正する。</p>	<p>生涯を見通した自己の生活設計について関心を持ち、自己のライフスタイルや生活資源の活用観点から、将来の生活設計について考えようとしている。</p>	<p>資源を有効活用した生活設計について考え、工夫している。自己実現を目指して、生活設計を考え、まとめたり、発表したりしている。</p>	<p>生活設計の立案に必要な情報を収集、整理し、検討を行い、具体的な生活設計を立てることができる。</p> <p>充実した人生を送るために、生涯を見通した生活設計の必要性を理解している。生活設計の意義や生活設計に必要な要素など、生活設計を行うために必要な知識を身に付けている。</p>	<p>ノート(ワークシート・資料収集状況・活用・分析状況) 感想・発表の様子 ペーパーテスト</p>	<p>県の「わたしのしあわせライフプラン」 4月作成、曼荼羅チャート</p>	

令和2年度 情報科 概要

1年 内進 科目一覽

福井県立高志高等学校 普通科

科目名	学科名	対象学年	単位数
社会と情報	普通科（内進生）	1年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
数研出版・社会と情報Next		数研出版・社会と情報Nextサポートノート 東京書籍・WordExcelPowerPointの基本操作	

科目の目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。

「社会と情報」 指導と評価の年間計画

進 科目一覧

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	(実習)		知識・理解
4	序編 情報とメディア	第1章 情報とメディアの特徴	2	<ul style="list-style-type: none"> 「情報」がもつ意味やはたらきについて関心をもっている。 情報の信頼性や情報を検証する方法について関心を持ち、積極的に情報を検証しようとしている。 さまざまな情報の表現形式について関心をもっている。 アナログとデジタルのちがいについて関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「情報」がもつ意味やはたらきについて考え、その結果を適切に表現している。 情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 情報を表現する際の適切な表現形式について考え、判断している。 アナログとデジタルのちがいについて考え、適切に判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を適切に収集、処理、表現するための技能を身に付けている。 一次情報を調べたり、クロスチェックを行って情報を検証したりするための技能を身に付けている。 失われる情報とつけ加わる情報に注意して、情報の表現形式を適切に変換することができる。 長さなどのアナログ情報を適切に読みとり、デジタル情報として表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータログオンなどCAI実習環境の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。 一次情報・二次情報といった情報の種類について理解している。 情報を検証する必要性や情報の信頼度を判断する方法について理解している。 さまざまな情報の表現形式について理解している。 情報の適切な表現形式や表現形式を変換すると失われる情報やつけ加わる情報があることについて理解している。 アナログとデジタルのちがいについて理解している。 デジタル情報の利点と欠点を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
		第2章 コンピュータの活用		<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの本体や周辺装置に関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 OSやアプリケーションなどのソフトウェアに関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 サーチエンジンの種類や活用のしかたについて関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について考えている。 OSやユーザインタフェースの役割について考えている。 サーチエンジンを利用する際に適切なキーワードや効果的な検索条件を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本的な操作ができる技能を身に付けている。 USBメモリなどの補助記憶装置を適切に利用することができる。 ファイルやフォルダを適切に扱うことができる。 ロボット型とダイレクトリ型のサーチエンジンを適切に使いこなすことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本的な構成について理解している。 コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。 OSの役割について理解している。 サーチエンジンのしくみや情報を絞りこむための方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
5 6 7 9	第2編 デジタル情報と情報の活用	第1章 情報のデジタル表現	1	<ul style="list-style-type: none"> デジタル情報がどのように表されるかについて関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 数値の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心をもっている。 文字、音、画像、動画の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心をもっている。 データ圧縮のしくみについて関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2進数と10進数の変換の方法について考え、その結果を適切に表現している。 限られたビット数で数値を表現する方法について考え、その結果を適切に表現している。 文字を文字コードで表現する方法について考え、その結果を適切に表現している。 音、画像、動画をデジタル化する方法について考え、その結果を適切に表現している。 データ圧縮のしくみについて考え、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 2進数と10進数の変換を行うことができる。 文字を文字コードを使って表すことができる。 教科書の図のアナログ信号を、手作業で標本化、量子化、コード化して、デジタル情報に変換することができる。 画像の解像度や階調を変えることができる。 動画を再生することができる。 フレームレートから動画に必要な静止画の枚数を計算することができる。 データを圧縮・展開したり、静止画や動画のファイル形式を変換したりすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ビット、バイトの概念や、デジタル情報の量の単位について理解している。 2進数と10進数の変換のしかたについて理解している。 文字コードのしくみやフォントの特徴について理解している。 音、画像のデジタル化のしくみについて理解している。 画像を扱うソフトウェアやファイル形式についての知識を身に付けている。 動画が動いて見えるしくみを理解している。 データ圧縮のしくみや利点について理解している。 静止画、音声、動画のファイル形式の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
		第2章 情報の表現と伝達		14	<ul style="list-style-type: none"> 情報を発信することや情報伝達のメディアに関心を持ち、情報を適切に発信しようとしている。 情報を発信するときの注意点に関心を持ち、積極的に活用しようとしている。 コンピュータを活用して、多様な形態の情報を統合することやわかりやすく表現することに関心を持ち、積極的に工夫している。 プレゼンテーションの実施や資料作成に関心を持ち、積極的にとり組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の目的に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。 情報を発信する際に、著作権や個人情報の保護について考え、適切に情報を扱っている。 多様な形態の情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現している。 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。 情報のデータ量を調べ、圧縮などの適切な方法でデータ量を小さくすることができる。 多様な形態の情報を統合し、伝えたい情報をわかりやすく表現することができる。 プレゼンテーションソフトウェアを活用するための技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワード2、エクセル3、パワーポイント7 	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達のメディアの性質を理解している。 情報を発信するときの注意点について理解している。 多様な形態の情報を統合し、伝えたい情報をわかりやすく表現するために必要な知識を身に付けている。 プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。
5 6 7 9	第4編 望ましい情報社会の構築	第1章 情報社会における問題解決	1		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決やその方法について関心を持ち、主体的に問題の解決を図ろうとしている。 具体的な問題解決の手順を学ぼうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決のプロセスについて考え、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決を行うために、情報機器を効果的に活用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 問題解決を行うためのプロセスを理解している。 各プロセスの手順や方法を理解している。
		第2章 情報システム		<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりで使われているコンピュータや情報システムに関心をもっている。 生活の安全のために情報技術が使われていることについて関心をもっている。 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心をもっている。 バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりでどのようなところにコンピュータが使われているか考え、その結果を適切に表現している。 生活の安全のために情報技術がどのような場所でどのように使われているか考え、判断している。 人にとって利用しやすいユーザインタフェースとはどのようなものか考え、その結果を適切に表現している。 バリアフリーやユニバーサルデザインの必要性について考え、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりで使われているコンピュータや情報システムについて、インターネットなどを利用して調べることができる。 生活の安全のために情報技術がどのような場所で使われているか、インターネットなどを活用して調べることができる。 GUIを効果的に活用するための技能を身に付けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりでコンピュータや情報システムがどのように利用されているか理解している。 生活の安全のために、どのような場所でどのように情報技術が使われているか理解している。 生活の安全のために使われている情報技術のよい点や問題点を理解している。 ユーザビリティやアクセシビリティについて理解している。 ユーザインタフェースに関する技術について理解している。 バリアフリーやユニバーサルデザインについての知識を身に付け、その必要性や重要性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析

「社会と情報」 指導と評価の年間計画

進 科目一覧

福井県立高志高等学校

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法	
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	(実習)		知識・理解
10	第1編 情報社会と情報モラル	第1章 人・社会とのかかわり	2	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会が人に及ぼす影響や問題点について関心をもっている。 インターネットの特性について関心をもち、インターネットを適切に活用しようとしている。 電子メールを利用してコミュニケーションを行うことに関心をもち、適切に活用しようとしている。 ネット上のトラブルや迷惑メールへの対策について関心をもち、主体的に対応しようとしている。 ネット上の詐欺や架空請求などの問題について関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の情報化が人に及ぼしている影響について考え、判断している。 インターネットに情報を発信する際に注意すべき点について考え、適切に情報を発信している。 電子メールを適切に活用するために注意すべき点について考え、適切に判断し、利用している。 ネット上のトラブルの原因や対策について考え、その結果を適切に表現している。 迷惑メールの対策について考え、その結果を適切に表現している。 ネット上の詐欺や架空請求の被害にあわないように、適切な対応について考え、判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 心身への悪影響がないように、情報機器を適切に利用することができる。 インターネットを適切に活用してコミュニケーションを行うことができる。 電子メールを送受信するために必要な技能を身に付けている。 迷惑メールの対策を行うための技能を身に付けている。 ネット上の詐欺や架空請求の被害にあわないように、適切にインターネットを利用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 情報化が社会に及ぼす影響と課題について理解している。 情報技術が生み出した問題について理解している。 インターネットに適切に情報を発信・活用するための知識を身に付けている。 電子メールの特徴や適切に利用するための注意点について理解している。 ネット上のトラブルを回避し、インターネットを適切に活用するための知識を身に付けている。 迷惑メールが社会に及ぼす影響とその対策方法について理解している。 ネット上の詐欺や架空請求などの問題が、社会に及ぼしている影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
		第2章 技術とのかかわり	2	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ認証やアクセス制御など、情報セキュリティを確保するための方法に関心をもっている。 情報セキュリティを高めるための暗号やデジタル署名などの技術に関心をもち、主体的に対応しようとしている。 サイバー犯罪や情報の流出などへのセキュリティ対策に関心をもち、主体的に対応しようとしている。 コンピュータウイルスが社会に及ぼす影響とその対策について関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティを確保するために、ユーザ認証やアクセス制御などの必要性について考え、判断している。 通信の秘密を守るために、どのような場面で暗号やデジタル署名などの技術が必要かを考え、判断している。 サイバー犯罪や情報の流出などへのセキュリティ対策の必要性について考え、適切に判断し、対応している。 コンピュータウイルスが社会に及ぼす影響について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザ認証を適切に行うための技能を身に付けている。 コンピュータウイルスへの対策を行うことができる。 パソコンのセキュリティ対策を適切に行うことができる。 セキュリティ対策ソフトを適切に活用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ユーザ認証やアクセス制御など、情報セキュリティを確保するために必要な知識を身に付けている。 通信の秘密を守る必要性和暗号のしくみを理解している。 サイバー犯罪や情報の流出などの現状を知るとともに、セキュリティ対策の必要性やその方法を理解している。 コンピュータウイルスが社会に及ぼす影響について理解している。 コンピュータウイルスへの対策の重要性とその方法を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
		第3章 法とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> 著作権などの知的財産権の保護について関心をもち、法律を守ろうとしている。 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権などの知的財産権を保護することの必要性について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 情報を保護するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権などの知的財産権を侵害せずに、情報機器を活用することができる。 個人情報やプライバシーを保護し、法律を守って情報技術を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習内容のまとめと応用(場合により探究活動などと関連)6 	<ul style="list-style-type: none"> 著作権などの知的財産権を保護する必要性や、その法律の目的について理解している。 個人情報やプライバシーの保護に関連する法律の意義や内容について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析 実習提出物
11 12 1	第3編 情報通信ネットワーク	第1章 コミュニケーション手段の発達	9	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの手段として通信が発達してきた歴史に関心をもっている。 マスコミュニケーションの進展に関心をもっている。 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信に関心をもち、積極的に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことについて考え、その結果を適切に表現している。 マスコミュニケーションの進展による情報発信の変化について考えている。 LANやインターネットなどのコンピュータによる通信の発達とその影響について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> モールス符号で短い情報を表現することができる。 マスコミュニケーションを適切に選択し、利用することができる。 コンピュータをLANで接続するために必要な技能を身に付けている。 		<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術の進展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。 マスコミュニケーションの進展について理解している。 コンピュータによる通信の進展や、LAN、WAN、インターネットなどに関する知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析 実習提出物
2 3		第2章 インターネットのしくみ	2	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワーク上で通信するためのプロトコルについて関心をもっている。 インターネットの通信のしくみについて関心をもっている。 パケット交換方式による通信に関心をもっている。 通信の信頼性を高めるしくみに関心をもっている。 IPアドレスやドメイン名のしくみに関心をもっている。 電子メールの送受信のしくみについて関心をもっている。 ウェブページを閲覧できるしくみについて関心をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報を伝達するためにはプロトコルが必要であることについて考えている。 インターネットのプロトコルが4階層で構成されていることについて考え、判断している。 パケット通信の利点と欠点について考え、判断している。 パリティ検査による誤り検出のしくみについて考え、その結果を適切に表現している。 ドメイン名の階層構造やDNSの利点について考えている。 電子メールの送受信のしくみについて考えている。 ハイパーテキストの利点やURLの構成のしくみについて考え、その結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なプロトコルを例にあげて説明することができる。 インターネットのプロトコルを適切に説明することができる。 パリティビットによる誤りの検出を行うことができる。 ドメイン名からIPアドレス、IPアドレスからドメイン名を調べることができる。 電子メールの送受信を行うことができる。 URLを入力したり、ブックマーク機能を利用したりして、ウェブブラウザを利用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワーク上で情報を伝達するためには、プロトコルが必要であることについて理解している。 インターネットの通信プロトコルは、役割によって複数のプロトコルが存在することについて理解している。 パケット交換方式による通信のしくみや、その利点と欠点を理解している。 データの誤りの検出や、パケット損失の検出のしくみを理解している。 IPアドレス、ドメイン名、DNSのしくみを理解している。 電子メールアドレスの構成や、電子メールの送受信のしくみについて理解している。 ウェブページの特徴やその閲覧のしくみについて理解している。 URLの構成や意味について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの記述内容の分析
	まとめ	これまでのまとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことについて、関心をもち、積極的に活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことについて、適切に考えたり、判断したり、あるいは表現したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことについて、必要な技能を身に付けたり、利用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことについて、知識を身に付けたり、理解したりしている。 	

令和2年度 サイエンスフロンティア 指導と評価の年間計画

1年 内准 科目一覧

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
KoA-R・I	普通科	1年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①幅広い分野に興味を持ち、科学や科学技術と社会の課題を知る。調査・研究・発表・議論の基本的な技能を身に付ける。 ②研究テーマ・コアテーマの設定を行的確な研究計画を立て、グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ③課題研究を通して、調査研究やデータ処理、分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査・研究の技能	知識・理解
・幅広い問題に関心を持ち、自身の研究テーマと関連づけて、探究を深めることができる。 ・積極的に質問や議論を行い、相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。	・調査・研究・観察・実験等を通して、事象を客観的に捉え、分析的・総合的に考察して、根拠を示して論理的に表現できる。 ・他の研究を正確に理解し、自らの意見や質問を論理的に表現することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、改善を重ねて科学的に探究することができる。	・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し、適切に活用して研究を深化させることができる。

「K o A - R ・ I」 指導と評価の年間計画

1年 内進 科目一覧

学校名・学科・学年

福井県立高志高等学校・普通科・1年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査研究の技能	知識・理解	
4月	ガイダンス リレー講座	・年間計画の確認。 ・リレー講座 「言語技術基礎」 「身の回りに潜む数学」 「科学実験の基礎1」	8	・幅広い領域、多様な課題に興味を持ち知識を吸収しようとしている。	・科学や技術と社会の関わりについて客観的な事実を元に考察することができる。		・講座で扱われた内容について、自分自身の問題意識とも関連づけて理解している。	ワークシート レポート
5月 6月 7月	リレー講座	・リレー講座 「科学的思考の基礎」 「科学実験の基礎2」 「社会調査のリテラシー」	18	・幅広い領域、多様な課題に興味を持ち知識を吸収しようとしている。	・科学や技術と社会の関わりについて客観的な事実を元に考察することができる。		・講座で扱われた内容について、自分自身の問題意識とも関連づけて理解している。	ワークシート レポート
9月	課題研究	・テーマ設定の方法 ・課題研究のすすめ方 ・テーマ設定 ・コアテーマ設定 ・研究計画作成	8	・主体的に課題を探し、具体的な方法で調査研究を進めようとしている。	・適切なサイズの課題を設定し、全体計画と各自の課題を把握し、適切に方針を立て、具体的に計画している。	・研究課題や現状を的確に把握・分析し、具体的かつ現実的な実験計画に反映している。	・各自が研究の目標や研究手法、課題等について正確に理解している。 ・コアテーマとの関連も意識してテーマを具体的に検討している。	ワークシート 探究ノート
10月 11月 12月	課題研究	・各班のテーマ、計画に沿って調査・研究を行う ・発表会に向けて収集した情報の整理と分析を行う。	20	・課題解決に関心を持ち、積極的に粘り強く取り組んでいる。	・情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・他の生徒と積極的な議論を行い研究の改善に生かすことができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
1月	発表準備 2年生研究発表会	・研究結果をまとめ、レポート、ポスター、発表資料を作成する。 ・効果的な発表を計画・準備する。 ・2年生発表会に参加する。	6	・研究成果をわかりやすく伝えることができるよう、工夫を重ねている。 ・聞き手に配慮しわかりやすく発表し、積極的に議論しようとしている。	・研究成果を客観的・論理的に分析し、適切な考察を加えて、今後の研究課題を含めてわかりやすくまとめている。	・準備中の議論を通じて得たアドバイスを研究のまとめに生かすことができる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
2月 3月	課題研究発表	・研究結果をまとめ、レポート、ポスター、発表資料を作成する。 ・効果的な発表を計画・準備する。 ・領域別発表会	10	・研究成果をわかりやすく伝えることができるよう、工夫を重ねている。 ・聞き手に配慮しわかりやすく発表し、積極的に議論しようとしている。 ・指摘を率直に受け入れて前向きに	・発表会を受けて各自の問題意識を深め興味を広げている。	・次年度の課題研究に向けて、各自で収集すべき情報を整理することができる。	・発表会での議論や指摘を理解し、整理してまとめ記録に残すことができる。	探究ノート 発表 発表資料 レポート